# YA-W72M/YS-10/YN-W72D-H/ YN-W72D-C

### 取扱説明書

- ●必ず製品に添付の「はじめにお読みください」に掲載されている「安全上のご注意」および「使用上の ご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ●本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ●本書の最新版は下記ウェブサイトに公開されております。 http://world.casio.com/manual/projector/



# 目次

はじめに	6
インタラクティブホワイトボードとは?	6
本書について	7
第1音・ 使用前の進礎	0
	ð
アンタルベンの準備	9
電池をセットする	9
クラブバンの電源 シンクラブに シバ C	10
ペン先を交換するには	. 10
交換用リフィルについて	. 10
デジタルペンをPCに接続する(ペアリング)	. 11
Bluetooth アダプターを PC に接続するには PC とデジタルペンのペアリングを行うにけ	. 11
デビビノシダルベンのパノリンクを行うたは	. /∠ 1∕I
ソフトウェアのインストール	15
ッシュシュン W コンパー ル	15
動作環境に関する注意事項	. 16
ソフトウェアをインストールする	. 16
セットアップランチャーを起動するには	. 16
DSPD をインストールするには Interactive Mybiteboard for CASIO をインストールするには	. 1/
Dot Pattern Printer for CASIO $\mathcal{E}^{\gamma} \mathcal{I} \mathcal{I}^{\gamma} \mathcal{I}^{\gamma} \mathcal{I}^{\gamma}$	. 10 . 19
.NET Framework をインストールするには	. 20
	. 20
	. Z I
トットスクリーンを設直する(YA-VV/2IVI/YIN-VV/2D-H)	. 21
合部の名称	. Z I 21
イットスクリーンを設置する(YNI-W/72D-C)	. 27
く ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	. 25
ドットスクリーンを設置するには	. 23
PC画面をドットスクリーンに投映する	. 24
	26
第2早: Interactive whiteboard for CASIOを使う	26
Interactive Whiteboard for CASIOの概要	. 26
Interactive Whiteboard for CASIOでできること	. 26
製品登録(シリアルキーの人力)	. 27
シリアルナーをハバタるには キャリブレーション	. 27 77
キャリブレーション <i>キャリブレーションを実行するには</i>	. 27 28
キャリブレーションをやり直すには	. 29
/毎回キャリブレーションを行う」オプションについて	. 29
→ 年間 オスパーク (1) 年間 オスパーク (1) 年間 オスパーク (1) 年間 オスパーク (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	. 30
辿町9 81には 終了するには	. 30 . 30
メインツールボックスの使いかた	. 31
バージョン情報を表示するには マウス制御モードでのデジタルペン <sup>場佐</sup>	. 32 27
、 ノハ //ウ/Ψ/ ヒー / ヒッノ ノノノ// ヽノフ床/ト	

PowerPoint操作モードを使う	33
PowerPoint操作モードの作業の流れ	33
PowerPoint操作モードでスライドショーを実行する	34
PowerPoint 操作モードでスライドショーを開始するには	34
PowerPoint 操作モードのスライドショーを終了するには	35
スノ1 トショー夫行中のテンタルヘノ保TF(POWEIPOINT 保TFモート) 合中記ウナ 亦五ナス	35
示□設正を发史9る ディフプレイ型空ち亦再するには	37 27
) 1 スノレイ設定を发生するには	57 38
用紙の詳細設定を変更するには	39
プレゼンテーションモードを使う	40
プレゼンテーションモードの作業の流れ	40
プレゼンテーションモードでスライドショーを実行する	41
プレゼンテーションモードでスライドショーを開始するには	41
スライドショーの表示を全画面表示とウィンドウ表示の間で切り替えるには	42
プレゼンテーションモードのスライドショーを終了するには	42
<i>スフィトショー夫行屮のテンタルヘン保作(ノレセンテーションモート)</i> プレギンニーンニンエードの理培部ウナ亦五ナス	42
ノレセンナーションモートの現現設定を変更9 る	45
プレゼンノーションモードの環境改足を友史するには	45
ノレビノナーションモードの初期設定を发史する	40
ディクトップ描画モードを使う	40 19
デフクトップ描画エードの作業の法わ	49
	49
衣小中の1 メーンをキャノテヤして記八9 る <i>圭元巾のイ</i> メージをキャプチャレア記入を始めるには	49 10
新たに別のイメージをキャプチャレて記入するには	49
以前に表示したキャプチャ画像を再表示するには	52
デスクトップ描画モードを終了するには	52
保存したDST ファイルを開いて編集するには	52
ブスジドック抽画モードのブジッルヘン保(F	<i>55</i>
) スクトッノ 抽画モートの初期設定で変更 9 る デェクトップ描画モードの初期設定でマイルを編集するにけ	54 <i>51</i>
プレゼンテーションモードとデフクトップ描面モードのツール場作	54
	57
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ページに円、三角形、または四角形を描画するには	
(プレゼンテーションモード)	57
ページに直線または矢印を描画するには(プレゼンテーションモード)	58
<u> </u>	58
<i>事 のオブジェクトを選択するには</i>	59
オブジェクトの線種と線の太さを変更するには	60
オブジェクトの色を変更するには	60
オノシェクトを移動・没形するには オブジェクトを同転するには(プレゼンテーシュンエード)	60
オブジェクトを回転するには、フレビンテーションモート)オブジェクトを削除するには	01 67
削除メ <sup>ー</sup> ューの操作	62
表示中ページのすべてのオブジェクトを削除するには	62
全ページのすべてのオブジェクトを削除するには	62
表示中のページを削除するには	63

	63
$\begin{array}{c} \neq (1 + 0) \\ (1 + 2) \\ (2 + 2)$	63
すべてのキャノチャ画像をDST ファイルに保存するには (デスクトップ描画モード)	63
表示中のページを画像ファイルとして保存するには すべてのページをページごとに個別の画像ファイルとして一括保存するには	64 64
保存ファイルの命名ルール	64
DSI ファイルからPPGファイルへの変換について	64
第3章: Dot Pattern Printer for CASIOを使う	. 65
Dot Pattern Printer for CASIOの概要	65
Dot Pattern Printer for CASIOでできること	65
製品登録(シリアルキーの入力) シリアルキーを入力するには	66
ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成	67
Dot Pattern Printer for CASIO使用上の注意事項	67
ドットパターン付き資料の印刷(PowerPoint操作モード用)	67
PowerPoint 操作モード用のドットハターン付き負料を印刷するには いットパターン付き盗割の印刷をDDCファイルの作式	6/
(プレゼンテーションモード用)	69
プレゼンテーションモード用のドットパターン付き資料を印刷し	
	69
Dot Pattern Printer for CASIOタイアログの高度な設定を行う	/   72
	/ 2
第4章: トラノルシューティング	. 73
デジタルペンおよびドットスクリーン関連	73
Interactive Whiteboard for CASIO 関連	/5
トフノルの原因と刃処	75
成礼VV回闼兄	/0 <b>77</b>
DUC FALLETT FILLET TOT CASIO 肉理	//
ドラフルの床内と内燃	/ / 78
	/ 0

第5章: 補足情報	79
DSPDの管理機能について	79
ドットスクリーンのお手入れ	79
ドットスクリーンの表面を掃除する	79
ドットスクリーンの裏面を掃除する	80
ドットスクリーンの収納	80
ドットスクリーンを収納する(YA-W72M/YN-W72D-H)	80
ドットスクリーンを収納する(YN-W72D-C)	
ソフトウェアのアンインストールと再インストール	82
ソフトウェアのアンインストール	82
Interactive Whiteboard for CASIO をアンインストールするには	
DSPD をアンキンストールするには Dot Pattern Printer for CASIO をアンインストールするには	
ソフトウェアの再インストール	
製品仕様	
デジタルペン仕様	
ドットスクリーン仕様	

- AnotoおよびAnotoロゴタイプは、スウェーデンAnoto ABの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPointは米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標または商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Intelは、米国Intel Corporationおよびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- ◆本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切 その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品 と異なることがあります。

# はじめに

# インタラクティブホワイトボードとは?

インタラクティブホワイトボードは、ドットスクリーン、ドットパターン付き資料\*1、デジタルペン、専 用ソフトウェア(Interactive Whiteboard for CASIO、DSPD、Dot Pattern Printer for CASIO\*2)がイ ンストールされたPC、およびプロジェクターで構成されるシステムです。PC上の「Interactive Whiteboard for CASIO」が、インタラクティブホワイトボードというシステムのフロントエンドの役 割を果たします。

「Interactive Whiteboard for CASIO」は、デジタルペンを使ってドットスクリーンに記入した筆跡をリ アルタイム\*\*3でドットスクリーンへ表示する、教育支援ツールです。プロジェクターからドットスク リーンに投映したPC画面(Interactive Whiteboard for CASIOの画面)にデジタルペンで直接手書きす ることができるので、授業やプレゼンテーションに視覚的な効果を与えたり、理解のしやすさを高めた りするのに役立ちます。

またインタラクティブホワイトボードの大きな特長は、デジタルペンでドットパターン付き資料に記入した筆跡も、ドットスクリーンに対する操作と同様にリアルタイムでドットスクリーンに表示できるという点です。手元の資料に記入したものが、そのままプロジェクターの投映画面に現れます。



- ※1 Dot Pattern Printer for CASIOを使って印刷した資料のことです。プレゼンテーションの際に ドットスクリーンに投映するスライドショーと同じ内容(例えばPowerPointファイルなど)を Dot Pattern Printer for CASIOを使って印刷出力しておくことで、プレゼンテーションの操作 (ページ送りやページ上への記入など)を紙の資料に対してデジタルペンで行うことができます。 なお、ドットパターン付き資料の印刷には、別途アノト認定プリンターが必要となります。アノト 認定プリンター以外でドットパターン付き資料を印刷しようとすると、正しくドットが印刷され なかったり、出力元ファイルと比較して色が乱れたり正しく再現されない場合があります。 アノト認定プリンター: http://www2.anoto.com/printingprinter-partners.aspx
- ※2 Interactive Whiteboard for CASIO、DSPDおよびDot Pattern Printer for CASIOは、アノトデジタルペンおよびペーパーの技術に基づいています。アノトデジタルペンおよびペーパーの技術は、以下を含む世界中の200以上の特許で保護されており、これらの特許はAnoto ABが所有しています:US6663008、US7172131、US7248250、US7281668、JP3872498、JP3842283、CN1595440、SE517445、RU2256225、AU773011。 アノトデジタルペンおよびペーパーの技術については、アノト・マクセル株式会社のホームページ(http://www.anoto.co.jp)をご確認ください。
- ※3 通信環境やPCの仕様などによっては、記入内容が表示されるまでに時間を要する場合があります。また、他の電子機器・無線通信機器などの影響によってデジタルペンの通信が阻害された場合、記入データが欠落することがあります。



本書は次の5章で構成されています。各章の主な内容は、次のとおりです。

章	主な内容
第1章: 使用前の準備	インタラクティブホワイトボードを使用するための準備作業につい て、次の3段階で説明します。 ① デジタルペンの準備 ② ソフトウェアのインストール ③ ドットスクリーン、プロジェクター、PCの設置
第2章: Interactive Whiteboard for CASIOを使う	<ul> <li>Interactive Whiteboard for CASIOの次のような機能を扱います。</li> <li>PowerPointファイルをそのまま使ったスライドショーの実行 (PowerPoint操作モード)。ドットスクリーンやドットパターン付 き資料をデジタルペンで操作して、ページ送りや記入を行う方法に ついて説明しています。</li> <li>専用形式ファイル(PPGファイル)を使って、豊富なツールで各ペー ジに記入できる、スライドショーの実行(プレゼンテーションモー ド)。ドットスクリーンやドットパターン付き資料(生徒用操作シー トを含む)をデジタルペンで操作して、ページ送りや記入を行う方 法について説明しています。</li> <li>キャプチャしたPC画面への直接記入(デスクトップ描画モード)。 ドットスクリーンに投映中の画面に、デジタルペンでそのまま記入 する操作について説明しています。</li> </ul>
第3章: Dot Pattern Printer for CASIOを使う	<ul> <li>Dot Pattern Printer for CASIOを使った次の操作について説明しています。</li> <li>① Interactive Whiteboard for CASIOのPowerPoint操作モードで使用するドットパターン付き資料の印刷方法。</li> <li>② Interactive Whiteboard for CASIOのプレゼンテーションモードで使用するドットパターン付き資料の印刷方法、およびPC上でスライドショーの実行に使う専用形式ファイル(PPGファイル)の作成方法。</li> </ul>
第4章: トラブルシューティング	インタラクティブホワイトボード使用中のトラブルへの対処方法集 です。「デジタルペンおよびドットスクリーン関連」、「Interactive Whiteboard for CASIO関連」、「Dot Pattern Printer for CASIO関連」 に分けて説明しています。
第5章: 補足情報	DSPD(デジタルペンのドライバーソフトウェア)に関する補足情報、 ドットスクリーンのお手入れや収納方法の情報、ソフトウェアのアン インストールと再インストール、および仕様情報が含まれます。

# 第1章: 使用前の準備

本章では、インタラクティブホワイトボードを使用するための準備作業について説明します。 次の順番で作業を実施してください。

#### (1) デジタルペンの準備(9ページ)

アノトデジタルペンは、プロジェクターから投映されているPCに対するマウス操作や記入(描 画)操作を、ドットスクリーンまたは印刷された資料(ドットパターン付き資料)上で行うための 入力デバイスです。デジタルペン(DP-301)について、「デジタルペンの準備」(9ページ)の作業を 行います。



### (2) ソフトウェアのインストール(15ページ)

弊社ウェブサイトから必要なソフトウェアをダウンロードし、PCにインストールする作業を行います。

### (3)ドットスクリーン、プロジェクター、PCの設置(21ページ)

ドットスクリーン、プロジェクター、PCをそれぞれ適切な場所に設置し、プロジェクターを使ってドットスクリーンにPC画面を投映する作業を行います。

# デジタルペンの準備

デジタルペンについて、下記の準備作業を実施してください。

### 電池をセットする

- 1. デジタルペンのキャップを閉じる。
- ロックレバーを下方向(ペン先と反対の向 き)にスライドさせ、電池ブタを開く。

- 3. 使用済みの乾電池が入っている場合は、そ の乾電池を取り出す。
- 4. 乾電池の極性に注意しながら正しくセットする。



5. 電池ブタを閉じ、ロック レバーを上方向(ペン先 の向き)にスライドさせ る。



ロックレバー

### デジタルペンの電源オン/オフについて

デジタルペンは、キャップを外すと電源が入り、キャップを閉じると電源が切れます。デジタルペンを 使用しないときは、必ずキャップを閉じてください。なお、キャップを外したまま約7分30秒の間、使用 せずに放置すると、デジタルペンの電源は自動的に切れます。再度電源を入れるには、一度キャップを 閉じてから、キャップを外してください。

### ペン先を交換する

デジタルペンにはあらかじめペン先としてスタイラスが装着されているので、そのまま使用する場合 はペン先を交換する必要はありません。次の場合は、ペン先の交換を行ってください。

- ●紙の資料(ドットパターン付き資料)への記入を行うために、ペン先をボールペンリフィルと交換したい場合。
- ●消耗または破損しているペン先を、リフィルに交換する場合。

#### ペン先を交換するには

1. デジタルペンに装着されているペン先を指先で挟み、引き抜く。

●引き抜きにくい場合は、ラジオペンチなどを使ってペン先を軽く挟み、引き抜いてください。

- 2. リフィルのペン先を傷つけないように注意しながら、デジタルペンの先端に差し込む。
- 紙の上などにペン先を軽く押し付け、リフィルをデジタルペンの 奥まで押し込む。

### 交換用リフィルについて

次のボールペンリフィルが使用できます。

- 三菱鉛筆社製SE-7 0.7mm 黒/赤
- ●ぺんてる社製KFS7 0.7mm 黒/赤/青
- •LAMY M21
- •Cross 8518-4

次のスタイラスリフィルが使用できます。

●PLUS社製423-063



# デジタルペンをPCに接続する(ペアリング)

デジタルペンをPCと接続するには、デジタルペンをBluetoothデバイスとしてPCに登録する必要があ ります。この操作を「ペアリング」と呼びます。

ペアリングを行うには、次の順番で作業を実施してください。

### (1)動作環境を確認する。

使用するPCが「動作環境」(15ページ)を満たしていることをご確認ください。

### (2) BluetoothアダプターをPCに接続する。

Bluetoothアダプター、またはBluetooth ver. 2.0に準拠しHID (Human Interface Device)プロ ファイルに対応した市販品のBluetoothアダプターを、PCに接続します。「Bluetoothアダプター をPCに接続するには」(11ページ)を参照してください。

### (3) デジタルペンとPCのペアリングを行う。

「PCとデジタルペンのペアリングを行うには」(12ページ)を参照してください。



- デジタルペンとPCの接続に使用できるBluetoothドライバーは、Microsoftスタック (「Microsoft Bluetooth Enumerator」と「Generic Bluetooth Radio」)またはTOSHIBAスタッ クです。市販のBluetoothアダプターをPCに接続して使用する場合は、Bluetoothアダプターに 付属しているドライバーをPCにインストールしないでください。付属のドライバーによっては デジタルペンが正常に動作しない場合があります。
- ●PC内蔵のBluetoothアダプターを使用したい場合はPCの説明書を参照して、Bluetoothドライ バーがMicrosoftスタックまたはTOSHIBAスタックか、これら以外かをご確認ください。
  - BluetoothドライバーがMicrosoftスタックまたはTOSHIBAスタックの場合は、PC内蔵の Bluetoothアダプターが使用できます。PC内蔵のBluetoothをオンにして、「PCとデジタルペ ンのペアリングを行うには」(12ページ)の操作に進んでください。
  - 上記以外の場合は、PC内蔵のBluetoothアダプターは使用できません。PC内蔵のBluetooth をオフにして、下記の「BluetoothアダプターをPCに接続するには」の操作を行ってください。

### BluetoothアダプターをPCに接続するには

### YA-W72M/YS-10に付属のBluetoothアダプターをPCに接続する。

**沙**重要

- Bluetoothアダプターに添付されているCD-ROMは使用せずに、Bluetoothアダプターをそのま まPCのUSBポートに接続してください。
- ●はじめてBluetoothアダプターをPCに接続すると、Windowsの標準ドライバーが自動的にイン ストールされます。

### 2. タスクトレイに表示されるBluetoothアイコンをクリックする。



- Windows XPでタスクトレイにBluetoothアイコンが表示されていない場合は、[スタート]メニュー → [コントロールパネル] → [Bluetoothデバイス]の順にクリックし、手順4に進みます。
- Windows XP/8の場合は「Bluetoothの設定を開く」、Windows Vista/7の場合は 「設定を開く」を選択する。

●「Bluetooth設定」ダイアログが表示されます。

### 4. 「ハードウェア」タブをクリックし、次の点を確認する。

- ●「デバイス」の一覧の「Generic Bluetooth Radio」をクリックし、ダイアログの下部に「デバイス の状態: このデバイスは正常に動作しています。」と表示されるのを確認する。
- ●「デバイス」の一覧の「Microsoft Bluetooth Enumerator」をクリックし、ダイアログの下部に 「デバイスの状態: このデバイスは正常に動作しています。」と表示されるのを確認する。

8 Bluetooth 設定	S Bluetooth BZ
オプション COM ポート ハードウェア	オプション COM ポート ハードウェア
7/5/2(D)	7/1/2(D)
名前 種類 S Generic Bluetooth Radio Bluetooth 無 Microsoft Bluetooth Enumerator Bluetooth 無	名前 種類 Generic Bluetooth Radia Bluetooth 集 Difference Bluetooth Factore Diversity
デバイスのプロパティ	7717120701771
製造元 Microsoft	製造元: Cambridge Silicon Radio Ltd.
塊所: Generic Bluetooth Radio	塊所: Port #0006.Hub #0004
デバイスの状態、このデバイスは正常に動作しています。	デバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。
70/97.(R) 0K #v5/t/L @MA	70/5/R の キャンセル 潮川A

5. 確認が済んだら[OK]をクリックしてダイアログを閉じる。

PCとデジタルペンのペアリングを行うには

1. タスクトレイのBluetoothアイコンをクリックする。



- ●Windows XPでタスクトレイにBluetoothアイコンが表示されていない場合は、次の操作を行って表示してください。
  - ① [スタート]メニュー  $\rightarrow$  [コントロールパネル $] \rightarrow$  [Bluetoothデバイス]の順にクリックする。
  - ② 表示される「Bluetoothデバイス」ダイアログの「オプション」タブをクリックし、「Bluetooth アイコンを通知領域に表示する」にチェックを付ける。
  - ③ [OK]をクリックしてダイアログを閉じる。

в

- Bluetoothアイコンをクリックすると表示されるメニューから、Windows XPの場合は「Bluetoothデバイスの追加」、Windows Vista/7の場合は「デバイスの追加」を 選択する。Windows 8の場合は、そのまま手順4へ進む。
  - Windows XPでは「Bluetoothデバイスの追加ウィザード」ダイアログが、Windows Vista/7では 「デバイスの追加」ダイアログが表示されます。
- Windows XPの場合は「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」に チェックを付け、[次へ]をクリックする。Windows Vista/7の場合はそのまま手順4 へ進む。

### 4. PCとペアリングするデジタルペン1本のキャップを外す。

●Bluetoothデバイスの検索が行われ、ダイアログ上に「ADP-301B」と表示されます。

Bluetooth デバイスの追加ウィザード 🛛 🛛		x
追加する Bluetooth デバイスを選択してください。	🕝 🕈 <del>چ</del> ارح کې	の通知
		ーターに追加するデバイスの選択 (スは猫時候素され、ここに素示されます。 ADP-3018 Exelection 入力デバイス
Windows XP		
	Windows 75	デバイスが検出されない場合の対処方法
		次へ(N) キャンオ2川。

Windows Vista/7

- 5. 「ADP-301B」を選択し、[次へ]をクリックする。
- Windows XPの場合は「マニュアルに指定されているパスキーを使用する」を選択し、 パスキーを半角数字で入力する。Windows Vista/7/8の場合は「デバイスのペアリ ングコードを入力」にパスキーを半角数字で入力する。

luetooth デバイスの追加ウィザード 🛛 🔀	
パスキーをデバイスに追加しますか?	④ * デバイスの追加
デバスがでユアルロドしゃからがだりったや参照して、この薄気(回答してください、マニュアルビリスキーが確 第21人を考慮さし、それを特用していていて、この薄気(回答してください、マニュアルビリスキーが確 「のを二アルビルを用すない」 ○ 自分でためいてスーを使用すない ○ 自分でためいてスーを使用すない ○ 自分でためいてスーを使用すない ○ 自分でためいてスーを使用すない ○ 自分でためいてスーを使用すない ○ かくないでした。一般があるという できためいて、 したーの指導を表示します。 ていていて、 ていていて、 ていていていて、 でいていていていていていていていていていていていていていていていていてい	デバイスのペアリングコードを入力 これにより、ELいデバイスと掛紙していることが確認されます。 
Windows XP	
	デバイスのペアリングコードが見つからない場合
	(水へ(N)) (本でンセン
	Windows Vista/7

●デジタルペンのパスキーは、下記のとおりです。	
デジタルペン:0000	

### 7. [次へ]をクリックする。

- ●ペアリングが完了すると、Windows XPの場合は「Bluetoothデバイスの追加ウィザードの完 了」、Windows Vista/7の場合は「このデバイスは、このコンピューターに正常に追加されまし た」と表示されます。
- Windows XPでは[完了]、Windows Vista/7では[閉じる]をクリックして、ダイア ログを閉じる。Windows 8の場合は「PC設定」を終了する。

# デジタルペンの動作表示について

デジタルペンは、さまざまな動作状態をLEDで表示します。



- ●デジタルペンのLEDは、キャップが閉じているとき(電源が切れた状態)とキャップを外した直後(電源が入った直後)は、いずれも消灯しています。
- ●キャップを外してあるときのLED表示は、次のとおりです。

ペンの状態	LED表示
アイドル状態	消灯
Bluetoothペアリング待機中	3秒間隔で点灯と消灯を繰り返す
Bluetooth接続待機中	消灯
Bluetooth接続成功	3秒間点灯
Bluetooth接続が確立した状態	消灯
電池切れ直前警告	点滅(8秒後に消灯し、強制シャットダウン)
電源オフ	消灯

# ソフトウェアのインストール

デジタルペンとペアリングしたPCに、インタラクティブホワイトボードを使用するために必要な次の ソフトウェアをインストールします。

名称	説明
DSPD	「Digital pen Streaming Product Driver」の略称です。デジタルペンから受信 したデータを、Interactive Whiteboard for CASIOに送る働きをするドライ パーソフトウェアです。
Interactive Whiteboard for CASIO	このソフトウェアを起動したPC画面をプロジェクターからドットスクリーン に投映すると、ドットスクリーン上でデジタルペンによるマウス操作が可能に なります。投映画面をデジタルペンでタップしてPowerPointファイルによる プレゼンテーションのページ操作をしたり、ファイル上にデジタルペンで記入 したりすることができます。また、Dot Pattern Printer for CASIOで印刷した 資料(ドットパターン付き資料)からも、デジタルペンを使ったページ操作や記 入が可能です。
Dot Pattern Printer for CASIO	PowerPointやWordなどで作成したドキュメントを、Interactive Whiteboard for CASIOを使ったプレゼンテーションで使用するためのドットパターン付 き資料として印刷したり、PPGファイル*として保存したりできる、仮想プリン タードライバーです。

※Interactive Whiteboard for CASIOのプレゼンテーションモード (40ページ)で開くための専用ファ イルフォーマットです。

### 動作環境

上記すべてのソフトウ	<b>ヮェアの稼働に必要な動作環境は、次のとおりです。</b>
OS:	Microsoft Windows <sup>®</sup> 8 日本語版
	Microsoft Windows® 7 SP1 日本語版
	Microsoft Windows Vista® SP2 日本語版
	Microsoft Windows® XP SP3(32bit)日本語版
CPU:	Intel® Core 2 Duo 2.0GHz以上
メモリー:	1GB以上およびご使用のOSが推奨するメモリー
ディスプレイ:	解像度1024×768(32bit color)以上
ハードディスク:	350MB以上の空き容量
デジタルペン:	CASIO DP-301 (アノト・マクセル製)
Bluetooth:	Bluetooth ver. 2.0準拠 Class 2
	HID (Human Interface Device) プロファイルに対応したBluetoothアダプ ターが必要です。
Bluetoothスタック:	Microsoft Bluetoothスタック、TOSHIBA Bluetoothスタック
アプリケーション:	PowerPoint® 2003/2007/2010
	(Interactive Whiteboard for CASIOのPowerPoint操作モード使用時に必要)

#### 動作環境に関する注意事項

- ●上記動作環境は、すべてのハードウェアでの動作を保証するものではありません。
- ●上記動作環境を満たさない場合や、他のアプリケーションと同時に使用した場合、本書に記載されたとおりに動作しない場合があります。
- ●ソフトウェアのインストールには、ご使用のPCの管理者権限が必要です。
- ●デジタルペンは、同時に4本まで使用可能です。ただし、PowerPoint操作モードで使用できるデジタ ルペンは1本だけです。
- ●他のBluetooth機器と同時に使用した場合、同時に使用するデジタルペンの本数が上記以内であって も、本書に記載されたとおりに動作しない場合があります。

### ソフトウェアをインストールする

はじめに、弊社ウェブサイト(http://casio.jp/support/projector/)からインタラクティブホワイト ボード用ソフトウェアの圧縮ファイル(ZIP形式)をダウンロードします。ダウンロードした圧縮ファイ ルをダブルクリックして開き、中に含まれる「setup\_ja」フォルダーを、ご使用のPCのローカルディス クにコピーしてください。

●重華

●「setup\_ja」フォルダーは、インストールが完了した後も削除しないでください。将来ソフト ウェアのアンインストールや再インストールが必要になったときに使います。

セットアップランチャーを起動するには

- 1. 起動中のプログラムをすべて終了する。
- インタラクティブホワイトボード用ソフトウェアの「インストーラ」フォルダーを開き、フォルダー内の「CASIO\_InteractiveWhiteboardsetup.exe」をダブルクリックする。
  - ●セットアップランチャー (Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcher)が起動し、次のようなウィンドウが表示されます。

Interactive \ for CASIO	Whiteboa	rd CASIO	
DSPD	のインストール	デジタルペンの動作に必要なドライパソフト ウェアをインストールします	
Interactive Whiteboard for CASIO	のインストール	デジタルペン対応の描面用ソフトウェア Interactive Whiteboard for CASIO をインス トールします	「Interactive Whiteboard for CASIO インストール」は、DSPDのインストー
Dot Pattern Printer for CASIO	のインストール	Interactive Whiteboard for CASIO 用の仮想 プリンタドライバ Dot Pattern Printer for CASIO をインストールします	後に選択できる状態になります。



●上記の操作を行ってもセットアップランチャーのウィンドウが表示されず、Windowsのメッ セージダイアログが表示された場合は、お使いのOSに応じて下記をご確認ください。

### Windows 8

ご使用のPCに.NET Framework 3.5がインストールされていない場合は、上記手順2の操作を行うと次のようなダイアログが表示されます。



この場合は、下記の操作を行ってください。

- (1) PCがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続する。
- (2) 上記のダイアログの上に、さらに「プログラム互換性アシスタント」ダイアログが表示された場合 は、「互換性の設定を使用してインストールする」をクリックする。
- (3) 上記のダイアログで「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックする。
- (4)「次の機能のインストールに成功しました:」というメッセージが表示されたら、[閉じる]ボタン をクリックする。

### Windows XP

ご使用のPCに.NET Framework 2.0 Service Pack 2以上がインストールされていない場合は、上記 手順2の操作を行うと「アプリケーションを正しく初期化できませんでした」というエラーメッセー ジが表示されます。この場合は、「.NET Frameworkをインストールするには」(20ページ)の操作を 行ってから、再度セットアップランチャーを起動してください。

### DSPDをインストールするには

- 1. 「セットアップランチャーを起動するには」(16ページ)の操作を行う。
- **2.** Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウで「DSPDの インストール」をクリックする。

●インストールが完了すると、「DSPDのインストール」が「DSPDのアンインストール」に変わり ます。

3. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

### Interactive Whiteboard for CASIOをインストールするには

- Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウが表示されて いない場合は、「セットアップランチャーを起動するには」(16ページ)の操作を行う。
- Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウで 「Interactive Whiteboard for CASIOのインストール」をクリックする。

●ソフトウェア使用許諾契約書が表示されるので、内容を十分ご確認ください。

- ソフトウェア使用許諾契約書に同意してインストールを開始するには、[同意する]を クリックする。
  - ●この契約書に同意されない場合、Interactive Whiteboard for CASIOを利用することはできません。
  - ●[同意する]をクリックすると、インストールが開始されます。
  - ●インストールが完了すると、「Interactive Whiteboard for CASIOのインストール」が 「Interactive Whiteboard for CASIOのアンインストール」に変わります。また、「DSPDのアン インストール」は選択不可になります。

Interactive V for CASIO	Whiteboard	d CASIO
DSPD	のアンインストール	デジタルベンのドライバソフトウェアをアン インストールします
Interactive Whiteboard for CASIO	のアンインストール	デジタルペン対応の描面用ソフトウェア Interactive Whiteboard for CASIO をアン インストールします
Dot Pattern Printer for CASIO	のインストール	Interactive Whiteboard for CASIO 用の仮想 プリンタドライバ Det Pattern Printer for CASIO をインストールします

4. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

### Dot Pattern Printer for CASIOをインストールするには

- Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウが表示されて いない場合は、「セットアップランチャーを起動するには」(16ページ)の操作を行う。
- Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウで「Dot Pattern Printer for CASIOのインストール」をクリックする。

- ソフトウェア使用許諾契約書に同意してインストールを開始するには、[同意する]を クリックする。
  - この契約書に同意されない場合、Dot Pattern Printer for CASIOを利用することはできません。
  - ●[同意する]をクリックすると、インストールが開始されます。
  - ●インストールが完了すると、「Dot Pattern Printer for CASIOのインストール」が「Dot Pattern Printer for CASIOのアンインストール」に変わります。

### 4. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

**X** 

●ご使用のOSによっては、上記手順3で[同意する]をクリックした後で次のようなダイアログが 表示されることがあります。この場合は、[続行]をクリックしてください。



●ご使用のOSによっては、上記手順3で[同意する]をクリックした後で次のような「Windowsセキュリティ」ダイアログが表示されることがあります。この場合は、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。



<sup>●</sup> ソフトウェア使用許諾契約書が表示されるので、内容を十分ご確認ください。

### .NET Frameworkをインストールするには



- ●以下の操作は「セットアップランチャーを起動するには」(16ページ)の手順2でエラーメッセージ「アプリケーションを正しく初期化できませんでした」が表示された場合のみ、実施してください。
- 「setup\_ja」フォルダー内の「dotnet」フォルダーに入っている「dotnetfx20.exe」 をダブルクリックする。
- 2. 同じフォルダー内の「1041 langpack 20. exe」をダブルクリックする。

### インストールの確認

- すべてのソフトウェアのインストールが済んでPCを再起動したら、次の点をご確認ください。
- ●DSPDは、PCを起動するたびに自動的に起動してタスクトレイに常駐します。タスクトレイにDSPD アイコン(1℃)が表示されていれば、正しくインストールされています。



●Interactive Whiteboard for CASIOが正しくインストールされると、デスクトップにInteractive Whiteboard for CASIOアイコンが現れます。



● Dot Pattern Printer for CASIOが正しくインストールされると、任意のアプリケーションの印刷ダイアログ(例えばAdobe ReaderでPDFを開き、[ファイル] → [印刷]を選択すると表示されるダイアログ)の「プリンター」リストボックスに「Dot Pattern Printer for CASIO」が表示されます。



● Interactive Whiteboard for CASIOをはじめて起動したとき、およびDot Pattern Printer for CASIOからはじめて印刷を実行したときは、シリアルキー確認画面が表示されます。シリアルキーは、本製品に添付されている「ソフトウェアライセンス証書」に記載されています。

# ドットスクリーン、プロジェクター、PCの設置

必要ソフトウェアをインストール済みのPCとプロジェクターを接続し、ドットスクリーンにPC画面を 投映するまでの作業を行います。 ドットスクリーンには次のタイプがあります。 巻き取りタイプのドットスクリーン(YA-W72M/YN-W72D-H) ケース収納タイプのドットスクリーン(YN-W72D-C) 下記のそれぞれの設置方法をお読みください。



- ●ドットスクリーンは、マグネットで金属製の壁や黒板などに貼り付けて固定するタイプです。
   ほこりなどで汚れた壁面や、マグネットで固定できないような面に貼らないでください。
- ●何らかの衝撃でドットスクリーンが壁面からはがれたときに、ドットスクリーンが落下するのを防ぐため、必ず付属の安全フックを使ってドットスクリーンを壁に固定してください。

# ドットスクリーンを設置する(YA-W72M/YN-W72D-H)

### 各部の名称



### ドットスクリーンを設置するには

- スクリーンケースからドットスクリーンを取り出し、巻きゆるみ防止ワイヤーを両方 とも角パイプ両端のフックから外す。
- ドットスクリーンの角パイプ部分を図のように垂直に壁面 (金属製の壁や黒板など)に当てて磁着させ、スクリーンを 徐々に拡げる。
  - ●巻き取りロールを壁面に押し付けながらゆっくりと回転させて、スクリーンを拡げます。
  - ●スクリーンを拡げたままで位置をずらすことはできません。位置を 修正するときは、必ず巻き取りロールにスクリーンを巻き取ってか ら修正してください。拡げたままのスクリーンを壁面から不用意に はがすと、落下したり修復できない折れ目ができたりすることがあ ります。



角パイプ

- スクリーンを最後まで拡げ、巻き取りロール部分を壁面に磁着 させる。
  - ●巻き取りロールから手を離しても、スクリーンが壁面から離れない ことを確認してください。
  - ●スクリーンが低温状態のときは巻きぐせが残るため壁面からはがれ やすく、落下の可能性が高くなりますので、特にご注意ください。



 上側の端末キャップの巻きゆるみ防止ワイヤーを引き出し、安全フックのワイヤーを 通す。



### 5. 安全フックの金具部分を壁に固定する。

- ●ドットスクリーンを黒板に貼り付けた場合は、下図のように、黒板と黒板が取り付けられている壁の間の隙間に安全フックを差し込んで、固定してください。
- ●安全フックを差し込むような隙間のない壁面にドットスクリーンを貼り付けた場合は、付属の ネジで安全フックを壁に固定してください。



●ワイヤーを引っ張って、安全フックがしっかりと固定されていることを確認してください。

# ドットスクリーンを設置する(YN-W72D-C)

# 各部の名称



### ドットスクリーンを設置するには

- ケースを両手でしっかりつかみ、図のように垂直 に壁面(金属製の壁や黒板など)に当てて磁着させ る。
  - ●操作中は、ケースをしっかり押さえて操作してくださ い。不用意に手を離すとケースが落下しけがの原因と なります。



### 中央のつまみをしっかり握り、スクリーンを手前 側に引くようにして引き出す。

- スクリーンを任意の位置に貼り付ける。貼り付け 時にエアーなどが入った場合は、一度剥がしてか ら貼り付け直す。
  - スクリーン貼り付け時に、スクリーンの巻きぐせにより端部が浮くことがあります。浮いた箇所を上から手で軽く押し付けると、しっかりと貼り付けることができます。巻きぐせが強く貼りつかない場合でも、しばらく貼ったまま放置しておくと貼りつきます。



- 4. 安全フックをスクリーンにセットする。
  - ●フック取り付け穴に安全フックのワイヤーを通します。ワイヤーがスクリーンにしっかり取り 付けられていることを確認してください。



### 5. 安全フックを黒板にセットする。

① 黒板と壁面の間にあるスキ間に安全フックを差し込みます。

② ワイヤーを引っ張って、安全フックがセットされていることを確認してください。

●安全フックを差し込むような隙間のない壁面にドットスクリーンを貼り付けた場合は、付属の ネジで安全フックを壁に固定してください。



## PC画面をドットスクリーンに投映する

С

 ◆ メモ
 ● デジタルペンの準備(9ページ)、ソフトウェアのインストール(15ページ)、および上記「ドット スクリーンを設置する」のすべての作業を済ませたうえで、次の操作を行ってください。
 ● プロジェクターおよびPCの操作方法については、各機器に付属の説明書を参照してください。

- 1. ドットスクリーンに投映できる位置にプロジェクターを設置する。
- プロジェクターの映像入力端子とPCの映像出力端子(RGB出力、HDMI出力等)をケー ブルで接続する。

# PCにBluetoothアダプターが接続されているのを確認し、PCとプロジェクターの電源を入れる。

- ●PCの起動後にBluetoothアダプターを接続した場合は、次の手順でDSPDを再起動することが 必要です。
  - タスクトレイのDSPDアイコン(記)を右クリックし、表示されるメニューから「終了」を選 択する。
  - ② Windows XP/Vista/7の場合:

[スタート]メニュー → [すべてのプログラム] → [dnp] → [dspd] → [dspd]の順にク リックする。

Windows 8の場合:

スタート画面で[dspd]タイルをクリックする。

### プロジェクターの投映画面がドットスクリーンの中に収まるように、プロジェクター のズーム設定や、プロジェクターの設置位置を調整する。

### 5. PCからの映像出力が投映されるように、プロジェクターの入力ソースを切り替える。

以上でインタラクティブホワイトボードを使用するためのすべての準備が完了しました。 次章にお進みになり、インタラクティブホワイトボードをご活用ください。



●Interactive Whiteboard for CASIOを起動していない状態では、プロジェクターからドットス クリーンにPC画面が投映されていても、ドットスクリーンをデジタルペンで操作することはで きません。

# 第2章: Interactive Whiteboard for CASIOを使う

本章では、インタラクティブホワイトボードの機能を使ってプレゼンテーションを行う際の各種操作 について、詳しく説明します。操作の中心となるPC用ソフトウェアが、Interactive Whiteboard for CASIOです。

### Interactive Whiteboard for CASIOの概要

ここではInteractive Whiteboard for CASIO(以下「本ソフトウェア」)でできること、本ソフトウェアの 使用を開始するにあたって必要な初期設定(製品登録とキャリプレーション)、および本ソフトウェア の基本操作について説明します。

### Interactive Whiteboard for CASIOでできること

本ソフトウェアには4つのモードがあり、各モードで次のことができます。

#### マウス制御モード

このモードでは、ドットスクリーンへの投映画面上で、デジタルペンをマウス代わりに使うことができ ます。

#### PowerPoint操作モード(デジタルペン1本が使用可能)

PowerPointアプリケーションを使って、PowerPointファイルによるスライドショーを実行するモード です。本ソフトウェアからのコントロールにより、ドットスクリーンとドットパターン付き資料から、 デジタルペンを使ってスライドショーを操作(ページ送りやページへの記入など)することができま す。

#### プレゼンテーションモード(デジタルペンを4本まで同時に使用可能)

PowerPointやWord、PDFなどのファイルから作成した専用形式のファイル(PPGファイル)を使って スライドショーを行うためのモードです。このモードでは次のようなことができます。

- ●ドットスクリーンやドットパターン付き資料に対するデジタルペン操作で、スライドショーが実行できます。
- ●PowerPointファイルによるスライドショーの場合と同様に、ペンツールやマーカーツールで記入で きます。さらに、図形・線・矢印の描画、画像ファイルの貼り付け、ページ上に記入したオブジェクトの 移動・拡大縮小・削除、スライドショー末尾への空白ページの追加などの操作も可能です。
- ●スライドショーの実行中に記入した内容は、PPGファイルとして保存できます。再度開いた後で、記 入内容を編集(移動・拡大縮小・削除)することも可能です。
- ●スライドショーを全画面表示するか、ウィンドウに表示するかを選択できます。

#### デスクトップ描画モード(デジタルペンを4本まで同時に使用可能)

デスクトップ描画モードは、PC画面(ドットスクリーンに投映中の画面)に表示中のイメージ(本ソフトウェアのツールボックスやウィンドウを除く)をキャプチャし、キャプチャされたイメージ画像にデジタルペンで記入するためのモードです。記入を行ったイメージ画像は、記入した内容を後から編集できる状態で保存(DSTファイル)したり、イメージ画像と記入した内容を含んだ画像ファイル(png、jpg、またはbmp)として保存したりすることができます。

### 製品登録(シリアルキーの入力)

本ソフトウェアの初回起動時(または2回目以降でシリアル未入力の場合)は、シリアルキー確認画面が 表示されます。シリアルキーは、本製品に添付されている「ソフトウェアライセンス証書」に記載されて います。1度シリアルキーを入力すれば製品登録が完了し、シリアルキー確認画面は表示されなくなり ます。

### シリアルキーを入力するには

- デスクトップのInteractive Whiteboard for CASIOアイコンをダブルクリックする。
- シリアルキー確認ダイアログが表示されるので、[シリアルキーを入力する]をクリックする。
  - ●シリアルキーの入力ダイアログが表示されます。

シリアルキーを入力してください。	
	1
登録 キャンセル	

**3.**「ソフトウェアライセンス証書」に記載されているInteractive Whiteboard for CASIOのシリアルキーを入力し、[登録]をクリックする。

●Interactive Whiteboard for CASIOが起動します。起動すると、画面右上に本ソフトウェアのメ インツールボックスが表示されます。また、タスクトレイに本ソフトウェアのアイコン( ▲)が 表示されます。



メインツールボックス

- ●引き続き、下記「キャリブレーション」の操作を行ってください。
- ●いったん本ソフトウェアを終了する場合は、メインツールボックス右下の x ボタンをクリッ クしてください。

### キャリブレーション

キャリブレーションとは、ドットスクリーン上のPC画面の投映位置を本ソフトウェアに記憶させる処 理のことです。キャリブレーションを1度実行した後で次のいずれかを変更した場合は、変更のたびに キャリブレーションを実行します。

- ●ドットスクリーンの設置位置
- ●プロジェクターの設置位置
- ●プロジェクターの投映サイズ設定
- ●PCのディスプレイ表示設定(画面解像度またはディスプレイ数)

キャリブレーションを実行するには

- 本ソフトウェアが起動していない場合は、デスクトップのInteractive Whiteboard for CASIOアイコンをダブルクリックして、本ソフトウェアを起動する。
- 2. デジタルペンのキャップを外す。
- PCから出力された映像を、プロジェクターでドットスクリーンに投映する。
  - ●2台以上(プロジェクターを含む)のディスプレイがPCに接続されている場合は、プロジェク ターがPCのメインディスプレイ(プライマリディスプレイ)か、それ以外(セカンダリディスプ レイなど)かをご確認ください。
  - ●プロジェクターがPCのメインディスプレイになっている場合にかぎり、ここでドットスクリー ンをデジタルペンでタップするだけで、すぐにキャリブレーションを開始することができま す。ドットスクリーンをデジタルペンでタップしたら、手順7に進んでください。その他の場合 は手順4に進んでください。
- 4. 本ソフトウェアのタスクトレイアイコン( 🎎 )をクリックする。
- 表示されるメニューから「キャリブレーション」を選択する。
- 表示されるサブメニューから、キャリブレーションの対象となるディスプレイ(プロジェクター)を選択する。
  - ●プロジェクターがPCに接続された唯一のディスプレイである場合や、ノートPCにプロジェク ターを接続しており、ノートPCのディスプレイと同じ内容がプロジェクターから投映されてい る場合(表示画面を複製している場合)は、サブメニューには「A」だけが表示されます。この場合 は「A」を選択します。
  - ●下のサブメニュー表示は、PCに2台のディスプレイ(例えばノートPC本体のディスプレイとプロジェクターなど)が接続されており、表示画面を拡張している場合のものです。プロジェクターがメインディスプレイの場合は「A」、セカンダリディスプレイの場合は「B」を選択してください。

キャリブレーション	A				
毎回キャリブレーションを行う	В				
バージョン情報					
終了					
A 股 🖻 🕫 🥥 🔮 👘 🔹 📩 🏱 🛱 📜					

●サブメニューから正しいアルファベットを選択すると、ドットスクリーン中央にそのアルファ ベットが表示され、左上にキャリブレーションマークが表示されます。



### 7. キャリブレーションマークの中心を、デジタルペンで1度だけタップする。

●デジタルペンをドットスクリーンから離したときの位置(座標)が記録されます。

### 引き続き、ドットスクリーン左下、右上、右下に順次表示されるキャリブレーション マークの中心を、それぞれデジタルペンで1度ずつタップする。

●4つ目のキャリブレーションマークをタップすると、キャリブレーションが完了します。

#### キャリブレーションをやり直すには

「キャリブレーションを実行するには」の手順4以降の操作を行います。キャリブレーションマークの表示中でも、この操作でキャリブレーションを最初からやり直すことができます。

#### 「毎回キャリブレーションを行う」オプションについて

本ソフトウェアのタスクトレイアイコン( 🏝 )をクリックし、表示されるメニューの「毎回キャリブ レーションを行う」にチェックを付けると、本ソフトウェアの起動後にドットスクリーンをデジタルペ ンでタップしたときに、毎回キャリブレーションが開始されるようになります。キャリブレーション情 報は、本ソフトウェアを終了するたびに破棄されます。ドットスクリーンやプロジェクターを頻繁に移 動するような運用をしている場合に便利な設定です。



「毎回キャリブレーションを行う」にチェックが付いていない場合(初期設定)は、本ソフトウェアを終 了しても、前回最後に実施したキャリブレーション情報が保持されます。このため一度もキャリブレー ションを実施していない場合を除き、ドットスクリーンをデジタルペンでタップしてもキャリブレー ションは開始されません。

●重要

●プロジェクターがPCのメインディスプレイでない場合は、「毎回キャリブレーションを行う」に チェックを付けずに、必要なときにそのつど、「キャリブレーションを実行するには」(28ペー ジ)の操作を行ってください。

## 基本操作

ここでは本ソフトウェアの起動と終了のしかた、メインツールボックスの使いかた、マウス制御モード でのデジタルペン操作について説明します。

#### 起動するには

本ソフトウェアは、次のいずれかの操作で起動できます。

- Windows XP/Vista/7の場合: [スタート]メニュー → [すべてのプログラム] → [CASIO] →
   [Interactive Whiteboard for CASIO] → [Interactive Whiteboard for CASIO]の順にクリックする。
- ●Windows 8の場合:スタート画面で[Interactive Whiteboard for CASIO]タイルをクリックする。
- ●デスクトップのInteractive Whiteboard for CASIOアイコンをダブルクリックする。
- ●PC画面を投映中のドットスクリーンをデジタルペンでタップする※1。
- ●Dot Pattern Printer for CASIOで印刷したドットパターン付き資料をデジタルペンでタップする※1。
- ●本ソフトウェアで保存したファイル(PPGファイルまたはDSTファイル)をダブルクリックする※2。
- ※1 この起動方法は、DSPDが起動している場合(タスクトレイにDSPDアイコン が表示されている 場合)に可能です。DSPDはPCを起動するたびに自動的に起動し、手動で終了しないかぎりはタス クトレイに常駐します。
- ※2 PPGファイルをダブルクリックした場合はプレゼンテーションモード(40ページ)、DSTファイル をダブルクリックした場合はデスクトップ描画モード(49ページ)で起動します。その他の方法で 起動した場合は、本ソフトウェアで前回最後に使用していたモードで起動します。

### 終了するには

本ソフトウェアは、次のいずれかの操作で終了できます。

- ●メインツールボックス右下の × ボタンをクリックする。
- ●本ソフトウェアのタスクトレイアイコン( ▲)をクリックし、表示されるメニューから「終了」を選 択する。

### メインツールボックスの使いかた

本ソフトウェアを起動すると表示されるメインツールボックスは、次のように使います。



メインツールボックス

これをするには:	この操作を行う:
マウス制御モード(32ページ)に切り替える**1	をクリックする。
PowerPoint操作モード (33ページ)に切り替える**1	をクリックする。
プレゼンテーションモード(40ページ)に切り替える**1	をクリックする。
デスクトップ描画モード(49ページ)に切り替える**1	をクリックする。
メインツールボックスを移動する	メインツールボックス上部の青帯部分をドラッグする。
メインツールポックスのアイコンの配置を縦型と横型の 間で切り替える	をクリックする。
本ソフトウェアのヘルプを表示する <sup>※2</sup>	<b>?</b> をクリックする。
ツールボックスをアイコン化する <sup>※3</sup>	をクリックする。
メインツールボックスを最小化する	をクリックする。
本ソフトウェアを終了する	をクリックする。

- ※1 現在選択されているモードのアイコンはオレンジ色で表示されます。マウス制御モード以外の モードに切り替えると、モードに応じたツールボックスが、メインツールボックスとは別に表示 されます。詳しくは、各モードの説明を参照してください。
- ※2 プレゼンテーションモードまたはデスクトップ描画モードが選択されている場合、ドットスク リーンをデジタルペンでタップしてヘルプを操作することはできません。
- ※3 メインツールボックス(および各モードのツールボックス)を隠し、現在選択されている モードを表すアイコンだけを画面上に表示します。右図は、マウス制御モードでツールボッ クスをアイコン化した場合の表示例です。 ツールボックスの表示を元に戻すには、アイコンをクリックします。



### バージョン情報を表示するには

本ソフトウェアのタスクトレイアイコン( 🎎 )をクリックし、表示されるメニューから「バージョン情報」を選択します。



### マウス制御モードでのデジタルペン操作

マウス制御モードでは、デジタルペンを使ってドットスクリーン上で次のマウス操作ができます。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットスクリーン上をデジタルペンで1回タップします。
ダブルクリック	ドットスクリーン上の同じ位置(3ピクセル以内)をデジタルペンで2回続けてタッ プします。
右クリック	ドットスクリーン上の同じ位置(3ピクセル以内)を、ペン先で1秒以上押さえたまま にします。[右クリック]と表示されたら、デジタルペンを離します。
ドラッグ	ドットスクリーンをペン先で押さえたまま移動します。
右ドラッグ	ドットスクリーン上の同じ位置(3ピクセル以内)を、ペン先で1秒以上押さえたまま にします。[右クリック]と表示されたら、そのまま移動します。

# PowerPoint操作モードを使う

PowerPoint操作モードは、PowerPointファイル\*によるスライドショーを実行するモードです。スラ イドショーの操作自体はファイルをPowerPointアプリケーションで開いた場合と同様ですが、本ソフ トウェアのPowerPoint操作モードを利用することで、次のことが可能となります。

- ●PowerPointスライドショーの操作(ページ送りやページへの記入など)を、ドットスクリーンの投映 画面に対してデジタルペンで行うことができます。
- ●PowerPointスライドショーの操作を、PowerPointファイルから印刷されたドットパターン付き資料 に対してデジタルペンで行うことができます。ドットパターン付き資料の各ページはPC上で開いて いるPowerPointファイルの各ページとリンクしており、ドットパターン付き資料のあるページをデ ジタルペンでタップしてそのページにジャンプすることができます。
- ※本ソフトウェアは、PowerPoint 2003、PowerPoint 2007、PowerPoint 2010で作成したファイルに 対応しています。PowerPointファイルのスライドショーを実行するには、再生したいファイルに対応したバージョンのPowerPointがPCにインストールされていることが必要です。

∕●重要

● PowerPoint 2010を使用する場合は、Office 2010をSP1以上にアップデートしてください。 アップデートしていない状態でPowerPoint 2010と本ソフトウェアを併用すると、本ソフト ウェアの一部機能が正常に動作しないことがあります。

## PowerPoint操作モードの作業の流れ

PowerPoint操作モードを使ってスライドショーを実行するまでの作業の流れは、次のとおりです。

(1) スライドショーに使うPowerPointファイルを用意する。

(2) PowerPointファイルをDot Pattern Printer for CASIOを使って印刷する。 ドットパターン付き資料からスライドショー操作を行いたい場合に必要です。 詳しくは「ドットパターン付き資料の印刷(PowerPoint操作モード用)」(67ページ)を参照して

ください。



### (3)本ソフトウェアを起動してPowerPoint操作モードに切り替え、PowerPointファイルを開く。

スライドショーが開始され、ドットスクリーンやドットパターン付き資料上でデジタルペンによるスライドショーの操作ができる状態になります。 詳しくは「PowerPoint操作モードでスライドショーを実行する」(34ページ)を参照してくださ

い。

## PowerPoint操作モードでスライドショーを実行する

本ソフトウェアでPowerPointファイルを開き、スライドショーを実行する操作について説明します。

PowerPoint操作モードでスライドショーを開始するには

- 本ソフトウェアを起動してメインツールボックスの 定をクリックし、PowerPoint操 作モードに切り替える。
  - ●次のようなPowerPoint操作モードツールボックスが表示されます。

°0		
	]	DoworDo
		FOWEIFG
>	:	

— PowerPointファイルドロップ

●詳しくは「余白設定を変更する」(37ページ)を参照してください。

- スライドショーに使用するPowerPointファイルを、PowerPointファイルドロップ にドラッグ&ドロップします。
  - ●「用紙設定」ダイアログが表示されます。



- メモ
   ●このダイアログで行う設定は、ドットパターン付き資料 のキャリブレーション(デジタルペンの位置合わせ)に相 当します。ドットスクリーンに対する操作には影響しま せん。
- PowerPointファイルをドットパターン付き資料として印刷した際の用紙設定に合わ せてダイアログ上の各項目を変更し、[適用]をクリックする。 ドットパターン付き資料を使わない場合は、何も変更せずに「適用]をクリックする。

● [適用]をクリックするとPowerPointアプリケーションが起動し、PowerPointファイルのスライ ドショーが先頭ページから開始されます。スライドショーの操作は、PowerPointアプリケー ションの通常操作と同様です。

- デジタルペンを使って、ドットスクリーンまたはドットパターン付き資料上で、ページ 送りや記入などの操作を行う。
  - ●詳しくは「スライドショー実行中のデジタルペン操作(PowerPoint操作モード)」(35ページ)を 参照してください。

### PowerPoint操作モードのスライドショーを終了するには

スライドショーを最後までページ送りするか、PowerPointアプリケーションのメニューから「スライ ドショーを終了」を選択します。スライドショーが終了し、PowerPointアプリケーションが手前に表示 された状態になります。

- ●同じPowerPointファイルのスライドショーを再開したい場合は、PowerPointアプリケーションの操作でスライドショーを開始します。再開しない場合は、PowerPointアプリケーションを終了します。
- PowerPoint操作モードで別のPowerPointファイルのスライドショーを開始したい場合は、 「PowerPoint操作モードでスライドショーを開始するには」(34ページ)の手順3以降の操作を行い ます。

### スライドショー実行中のデジタルペン操作(PowerPoint操作モード)

#### ドットスクリーンに対する操作

●ドットスクリーン上では、デジタルペンを使って次のマウス操作が可能です。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットスクリーン上をデジタルペンで1回タップします。
ダブルクリック	ドットスクリーン上の同じ位置(3ピクセル以内)をデジタルペンで2回続けてタッ プします。
右クリック	ドットスクリーン上の同じ位置(3ピクセル以内)を、ペン先で1秒以上押さえたまま にします。[右クリック]と表示されたら、デジタルペンを離します。
ドラッグ	ドットスクリーンをペン先で押さえたまま移動します。

#### ドットパターン付き資料に対する操作

●ドットパターン付き資料上では、デジタルペンを使って次のマウス操作が可能です。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットパターン付き資料上をデジタルペンで1回タップします。
ダブルクリック	ドットパターン付き資料上の同じ位置(3ピクセル以内)をデジタルペンで2回続け てタップします。
右クリック	ドットパターン付き資料上の同じ位置(3ピクセル以内)を、ペン先で1秒以上押さえ たままにします。PC画面(ドットスクリーンに投映中の画面)のマウスポインター 位置に[右クリック]と表示されたら、デジタルペンを離します。
ドラッグ	ドットパターン付き資料をペン先で押さえたまま移動します。



●ドットパターン付き資料上でデジタルペンを操作する場合は、ドットスクリーン上でデジタルペンを操作したり、PC上でマウスを操作したりする場合よりも、マウスポインターの可動範囲は狭くなります。ドットパターン付き資料の端部では、デジタルペンは使用できなくなります。また、デジタルペンでマウスポインターが動かせる範囲であっても、PowerPointファイルのページ設定によってはペンツールによる記入ができない場合があります。

 ●ドットパターン付き資料上に「PowerPoint用」操作シートが印刷されている場合は、操作シートを 使ってPowerPointアプリケーションの操作が可能です。

$\square$			Ø	Red	Blue	Green	Yellow		•	•		
-----------	--	--	---	-----	------	-------	--------	--	---	---	--	--

これをするには:	このアイコンをタップする:
PowerPointスライドショー機能の矢印ツールを選択する	R
PowerPointスライドショー機能のペンツールを選択する (PowerPoint 2010を使用している場合は、「ボールペン」または「フェルトペン」ア イコンをタップすると「ペン」が選択されます。)	<ul> <li>✓ (ボールペン)</li> <li>✓ (フェルトペン)</li> <li>✓ (ブェルトペン)</li> <li>✓ (蛍光ペン)</li> </ul>
PowerPointスライドショー機能のペンツールで記入する際の色を選択する	Red Blue Green Vellow
PowerPointスライドショー機能の消しゴムツールを選択する	
スライドショーで現在表示中のページに対する前ページを表示する	•
スライドショーで現在表示中のページに対する次ページを表示する	•
Windowsのタスクバーを表示する	

●ドットパターン付き資料のあるページをデジタルペンでタップまたはドラッグすると、実行中のス ライドショーの該当ページに対する操作として扱われます。このため、現在PowerPointアプリケー ションで選択されているツールに応じて、ドットパターン付き資料上でのタップやドラッグ操作は 次のように扱われます。

この操作を行うと:	このように扱われる:
矢印( ┗) が選択されてい るときに、ドットパターン付 き資料上のあるページを タップする	PowerPointアプリケーション上でPowerPointファイルの該当ページを矢印でク リックしたときと同様に扱われますが、現在PowerPointアプリケーション上で表示 されているページや、デジタルペンでタップしたページの状態によって、動作が異な ります。
	<ul> <li>タップしたドットパターン付き資料上のページと現在表示中のページが異なる場合:</li> <li>アニメーションが設定されていないページをタップした場合は、そのページが表示されます。</li> </ul>
	● アニメーションが設定されているページをタップした場合は、そのページのアニ メーションが先頭から開始され、アニメーションが終了するとそのページで停止 します。
	<b>タップしたドットパターン付き資料上のページと現在表示中のページが同じ場合:</b> 次のページが表示されます。
ペンツール(ボールペン、 フェルトペン、または蛍光ペ ン*)が選択されているとき	PowerPointアプリケーション上でPowerPointファイルの該当ページをペンツール でクリックまたはドラッグしたときと同様に扱われますが、現在PowerPointアプリ ケーション上で表示されているページによって、動作が異なります。
に、ドットパターン付き資料	タップしたドットパターン付き資料上のページと現在表示中のページが異なる場合:
上のあるページをタップま たはドラッグする	● アニメーションが設定されていないページをタップまたはドラッグした場合は、 そのページにジャンプすると同時に、現在選択されているペンツールによるその ページへの記入が行われます。
	● アニメーションが設定されているページをタップまたはドラッグした場合は、そのページのアニメーションが先頭から開始され、アニメーションが終了するとそのページで停止します。
	<b>タップしたドットパターン付き資料上のページと現在表示中のページが同じ場合:</b> 現在選択されているペンツールによる、そのページへの記入が行われます。

※PowerPoint 2010の場合は、ペンまたは蛍光ペンのいずれかです。
# 余白設定を変更する

PowerPoint操作モードツールボックスの 🕤 (余白設定)をクリッ クすると表示されるダイアログを使うと、ドットパターン付き資 料上でデジタルペンを使用する際の、次の各項目を変更すること ができます。



#### ●ディスプレイ設定の変更

PC画面(ドットスクリーンに投映中の画面)上のマウスカーソルの可動範囲を変更できます。

●用紙設定の変更

PowerPoint操作モードでPowerPointファイルを開いたときに表示される「用紙設定」ダイアログ (38ページ)上の各設定を変更できます。

#### ●用紙設定(詳細)の変更

ドットパターン付き資料上でデジタルペンを使った記入が可能な範囲を変更できます。

上記設定は、変更後に「PowerPoint操作モードでスライドショーを開始するには」(34ページ)の操作 を行った時点から有効となります。

## ディスプレイ設定を変更するには

#### **1.** PowerPoint操作モードツールボックスの <sup>®</sup>をクリックする。

●次のような「ディスプレイ設定」ダイアログが表示されます。



●このダイアログでは、ドットパターン付き資料上でデジタルペンを操作したときに、PC画面 (ドットスクリーンに投映中の画面)上でマウスカーソルが移動できる範囲を指定します。

# 2. 「上」ボックスに、PC画面の上端からカーソルが移動可能な上端までのマージンを、ピクセル数で入力する。

●例えばPC画面の最上端まで移動可能にしたい場合は「0」を入力し、画面上端から20ピクセルの 範囲にはカーソルを移動できないようにするには「20」を入力します。

## 3. 手順2と同じ要領で、「下」、「左」、「右」の各ボックスに数値を入力する。

● 例えば「左」だけに「30」と入力し、その他はすべて「0」に設定すると、ドットパターン付き資料上のデジタルペン操作とPC画面上でのカーソル移動との対応は、下図のようになります。



#### 4. [適用]をクリックする。

●変更後の設定が保存され、ダイアログが閉じます。

#### 用紙設定を変更するには

**1.**PowerPoint操作モードツールボックスの 🔊 をクリックする。

## 2.「用紙設定」タブをクリックする。

●次のような「用紙設定」ダイアログが表示されます。



 PowerPointファイルをドットパターン付き資料として印刷した際の用紙サイズ、用 紙の向き、および用紙のタイプをそれぞれ選択する。

用紙サイズ: A4、A3、A5、B4(JIS)、B5(JIS)、Legal(8.5inch×14inch)、Letter

用紙の向き:





用紙のタイプ:



## 4. [適用]をクリックする。

- ●変更後の設定が保存され、ダイアログが閉じます。
- ●次回「PowerPoint操作モードでスライドショーを開始するには」(34ページ)の操作を行ったと きに表示される「用紙設定」ダイアログに、手順3で選択した設定が初期表示されます。

用紙の詳細設定を変更するには

- **1.** PowerPoint操作モードツールボックスの le をクリックする。
- 2.「用紙設定(詳細)」タブをクリックする。
  - ●次のような「用紙設定(詳細)」ダイアログが表示されます。



- ●このダイアログでは、ドットパターン付き資料上でデジタルペンを使って記入できる範囲を指 定します。
- 「上」ボックスに、ドットパターン付き資料の上端から、デジタルペンを使って記入できる範囲の上端までのマージンを、数値(相対値)で入力する。

●0を入力するとマージンなしになります。入力値が大きいほど、マージンも大きくなります。

- 4. 手順3と同じ要領で、「下」、「左」、「右」の各ボックスに数値を入力する。
  - ●例えば「左」だけに「72」と入力し、その他はすべて「0」に設定すると、ドットパターン付き資料上のデジタルペン操作とPC画面上でのカーソル移動との対応は、下図のようになります。



5. [適用]をクリックする。

●変更後の設定が保存され、ダイアログが閉じます。

# プレゼンテーションモードを使う

プレゼンテーションモードは、PowerPointやWord、PDFなどのファイルから作成した専用形式のファ イル(PPGファイル)を使ってスライドショーを行うためのモードです。このモードでは次のようなこ とができます。

- ●ドットスクリーンやドットパターン付き資料に対するデジタルペン操作で、スライドショーが実行できます。
- ●PowerPointファイルによるスライドショーの場合と同様に、ペンツールやマーカーツールで記入で きます。さらに、図形・線・矢印の描画、画像ファイルの貼り付け、ページ上に記入したオブジェクトの 移動・拡大縮小・削除、スライドショー末尾への空白ページの追加などの操作も可能です。
- ●スライドショーの実行中に記入した内容は、PPGファイルとして保存できます。再度開いた後で、記入内容を編集(移動・拡大縮小・削除)することも可能です。
- ●スライドショーを全画面表示するか、ウィンドウに表示するかを選択できます。

# プレゼンテーションモードの作業の流れ

プレゼンテーションモードを使ってスライドショーを実行するまでの作業の流れは、次のとおりです。

(1)スライドショーの元となるPowerPoint、Word、PDFなどのファイルを用意し、Dot Pattern Printer for CASIOを使って印刷する(ドットパターン付き資料からスライドショー操作を行 いたい場合)。

#### (2)上記(1)で用意したファイルを使って、PPGファイルを作成する。

以上2つの作業は、Dot Pattern Printer for CASIOを使って同時に実行できます。詳しくは「ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成(プレゼンテーションモード用)」(69ページ)を参照してください。



#### (3)本ソフトウェアを起動してプレゼンテーションモードに切り替え、PPGファイルを開く。

スライドショーが開始され、ドットスクリーンやドットパターン付き資料上でデジタルペンによ るスライドショーの操作ができる状態になります。

詳しくは「プレゼンテーションモードでスライドショーを実行する」 (41ページ)を参照してくだ さい。

## プレゼンテーションモードでスライドショーを実行する

本ソフトウェアでPPGファイルを開き、スライドショーを実行する操作について説明します。

プレゼンテーションモードでスライドショーを開始するには

本ソフトウェアを起動してメインツールボックスの kg をクリックし、プレゼンテーションモードに切り替える。

●プレゼンテーションモードツールボックスが表示され、同時に「開く」ダイアログが表示されます。

**2.** 「開く」ダイアログでスライドショーを実行したいPPGファイルを選択し、[開く]をクリックする。

●PPGファイルが開き、先頭ページが表示されます。



 デジタルペンを使って、ドットスクリーンまたはドットパターン付き資料上で、ページ 送りや記入などの操作を行う。

●詳しくは「スライドショー実行中のデジタルペン操作(プレゼンテーションモード)」(42ペー ジ)を参照してください。

とモー

●上記手順1、2の操作の代わりに、スライドショーを実行したいPPGファイルをダブルクリック しても構いません。本ソフトウェアがプレゼンテーションモードで起動し、PPGファイルが開 きます。

#### スライドショーの表示を全画面表示とウィンドウ表示の間で切り替えるには

プレゼンテーションモードでは、スライドショーの表示を全画面表示とウィンドウ表示の間で設定を 切り替えることができます。詳しくは「プレゼンテーションモードの環境設定を変更する」(45ページ) を参照してください。

なお、設定を切り替えるたびに、本ソフトウェアの再起動が必要です。

#### プレゼンテーションモードのスライドショーを終了するには

プレゼンテーションモードツールボックス右下の 🗙 ボタンをクリックします。

スライドショーの実行中にPPGファイルに記入するなど変更を加えた場合は、「終了する前にプレゼン テーションデータを保存しますか?」という確認ダイアログが表示されます。

-保存する場合は確認ダイアログで[はい]をクリックし、表示される「名前を付けて保存」ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存]をクリックします。

-変更を破棄する場合は確認ダイアログで[いいえ]をクリックします。

#### スライドショー実行中のデジタルペン操作(プレゼンテーションモード)

ここではデジタルペンを使ってドットスクリーン、またはドットパターン付き資料に対して実行でき る操作を、一通り簡単に説明します。個別の操作について詳しくは、「プレゼンテーションモードとデス クトップ描画モードのツール操作」(57ページ)を参照してください。

#### ドットスクリーンに対する操作

ドットスクリーン上では、デジタルペンを使ってマウスのクリックとドラッグの操作ができます。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットスクリーン上をデジタルペンで1回タップします。
ドラッグ	ドットスクリーンをペン先で押さえたまま移動します。

また、プレゼンテーションモードツールボックスのアイコンをクリックすることで、下表のような本ソ フトウェアの機能を利用することができます。

- ●下表中の「ページ」とは、現在操作対象となっているスライドショーのページを表します。
- ●下表中の「オブジェクト」とは、本ソフトウェアの機能を使ってページ上に追加された記入内容や図形、画像の総称です。
- ●下表中で\*\*の付いたアイコンの機能は、ドットパターン付き資料上の「プレゼンテーションモード用」 操作シートからも利用できます。
- ●下表中の 🗔 アイコンだけは、メインツールボックス上のアイコンです。

これをするには:	このアイコンを クリックする:
矢印ツール 🖹 (ページをクリックしてページ送りするツール)に切り替える	*
ペンツール(ページにペンで記入するツール)に切り替える	*
マーカーツール(ページにマーカーで記入するツール)に切り替える	*
選択ツール(ページ上のオブジェクトを選択するツール)に切り替える	
消しゴムツール(ページ上のオブジェクトを削除するツール)に切り替える	*

これをするには:	このアイコンを クリックする:
図形メニューを表示する る  る  ま示された図形メニューのアイコンをクリックすると、アイコンが表す図形を描画するツールに切り替わります。	
画像ファイルをページに挿入するための「開く」ダイアログを表示する	B
線種設定メニューを表示する 表示された線種設定メニューのアイコンをクリックすると、現在選択 されている記入/描画ツールの線種が切り替わります。 本設定は、デジタルペンごとに個別に変更することができます。	****
<ul> <li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	<b>(</b> )*
直前の記入、描画、または画像に関連した操作を元に戻す(最大10回まで操作可能)	う
の で元に戻した操作をやり直す	R
ページを拡大表示する(150%、200%、300%の3段階まで拡大可能)	*
拡大表示中のページの拡大率を1段階下げる	Q *
手のひらツール(拡大表示中のページをドラッグ操作でスクロールするツール)に切り替える	***
ドットパターン付き資料をデジタルペンでタップしたときのページの自動切り替え(45ページ) を禁止する(または、禁止を解除する)	<b>()</b>
スライドショーで現在表示中のページに対する前ページを表示する	*
スライドショーで現在表示中のページに対する次ページを表示する	*
現在開いているPPGファイルの末尾に白紙のページを追加する(最大20ページまで追加可能)	4
削除メニューを表示する 削除メニューには「表示ページのオブジェクトを全て削除」、「全ページのオブジェクトを全て削 除」、「表示ページを削除」という3つのオプションが含まれます。詳しくは「削除メニューの操作」 (62ページ)を参照してください。	
現在開いているPPGファイルを印刷するための「印刷」ダイアログを表示する	
PPGファイルを開くための「開く」ダイアログを表示する	Ê
保存メニューを表示する 保存メニューには「ppgを保存」、「表示ページを画像保存」、「全ページを画像保存」という3つの オプションが含まれます。詳しくは「保存メニューの操作」(63ページ)を参照してください。	

#### ドットパターン付き資料に対する操作

●ドットパターン付き資料上では、デジタルペンを使ってマウスのクリックとドラッグの操作ができます。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットパターン付き資料上をデジタルペンで1回タップします。
ドラッグ	ドットパターン付き資料をペン先で押さえたまま移動します。

 ●ドットパターン付き資料上に「プレゼンテーションモード用」操作シートが印刷されている場合は、 操作シートを使ってスライドショーのページ切り替えや一部のツール切り替えなどの操作が可能で す。



ドットパターン付き資料上に印刷されている操作シートが「プレゼンテーションモード生徒用」の場合は、現在選択されている記入/描画ツールの線種と色指定の変更だけが可能です。



これをするには:	このアイコンをタップする:
矢印ツール 🔪 (ページをタップしてページ送りするツール)に切り替える	*1
ページを拡大表示する(3段階まで拡大可能)	•
拡大表示中のページの拡大率を1段階下げる	Q **2
手のひらツール(拡大表示中のページをドラッグ操作でスクロールするツール)に 切り替える	*2
ペンツール(ページにペンで記入するツール)に切り替える	
マーカーツール(ページにマーカーで記入するツール)に切り替える	
現在選択されている記入/描画ツールの線種を切り替える	*3
現在選択されている記入/描画ツールの色を切り替える	<b>P</b> R <b>P</b> B <b>P</b> K <b>*</b> 3
消しゴムツール(ページ上のオブジェクトを削除するツール)に切り替える	
スライドショーで現在表示中のページに対する前ページを表示する	Ð
スライドショーで現在表示中のページに対する次ページを表示する	3
ドットパターン付き資料をデジタルペンでタップしたときのページの自動切り替 え(45ページ)を禁止する(または、禁止を解除する)	

※1 ページを拡大表示していないときのみ有効な操作です。

※2 ページの拡大表示中のみ有効な操作です。

※3 デジタルペンごとに個別に設定を変更することができます。

#### ドットパターン付き資料によるページの自動切り替え機能について

ドットパターン付き資料の各ページに対するデジタルペン操作は、PPGファイルの該当ページへの操作として扱われます。このため、ドットパターン付き資料のあるページをデジタルペンでタップすると、スライドショーではPPGファイルの該当ページが表示されます。これが、プレゼンテーションモードのページの自動切り替え機能です。

この機能の動作を、必要に応じて禁止することができます。禁止するには、プレゼンテーションモード ツールボックスまたはドットパターン付き資料の操作シート上の 🔊 アイコンをタップします。プレゼ ンテーションモードツールボックスのアイコンが 🔊 のときはページの自動切り替え機能が働き、

🔯 のときはページの自動切り替えは禁止されます。

- ●ページの自動切り替えが働いているとき())は、スライドショーで現在表示されているページ以外のドットパターン付き資料のページ上をデジタルペンでタップすると、現在選択されているツールにかかわらず、実行中のスライドショーは該当ページにジャンプします。

## プレゼンテーションモードの環境設定を変更する

- プレゼンテーションの次の動作を変更できます。
- ●ペンで記入する際の速度優先と画質優先を切り替える
- ●スライドショーの表示を全画面表示とウィンドウ表示の間で切り替える

#### プレゼンテーションモードの環境設定を変更するには

#### 1. プレゼンテーションモードツールボックスの 🕓 をクリックする。

●次のような「環境設定」ダイアログが表示されます。

🎦 環境設定 🔼	(
資料の表示オブションを切り替えます。	
☞ 速度優先	
○ 画質優先	
プレセンテーションモードの表示形式を切り替えます。 C 全面面表示 C ウィンドウ表示	
更新 開じる	



●この操作をドットスクリーン上でデジタルペンを使って行っている場合は、ここでメインツー ルボックスの 図をタップして、マウス制御モードに切り替えてください。プレゼンテーション モードでは、ダイアログ上の操作を行うことはできません。

## 2. 希望するオプションを選択する。

このオプションを選択するには	このボタンをクリックする:
ペンやマーカーで記入する際に、画質(記入の滑らかさ)よりも速度 (ペンの移動に対する記入の反応の素早さ)を優先する	速度優先
ペンやマーカーで記入する際に、速度よりも画質を優先する (このオプション選択時は、例えば曲線がより滑らかに描画できます。)	画質優先
スライドショーを全画面表示する	全画面表示
スライドショーをウィンドウ表示する	ウィンドウ表示

#### 3.変更を適用するには、[更新]をクリックする。

●本ソフトウェアの再起動を促す確認ダイアログが表示されるので、[OK]をクリックしてください(このとき自動的に再起動はしません)。

#### 4.「環境設定」ダイアログを閉じるには、[閉じる]をクリックする。

#### 5. 変更後の設定を有効にするには、本ソフトウェアを再起動する。

●プレゼンテーションモードツールボックス右下の x ボタンをクリックしてプレゼンテーションモードを終了した後で、 をクリックしてプレゼンテーションモードに入り直しても、変更後の設定が有効になります。

## プレゼンテーションモードの初期設定を変更する

初期設定ファイルを編集することで、プレゼンテーションモード起動時の次の状態を変更できます。

- ●起動時に選択されているツール(ペン、マーカー、または矢印)
- ●ペンの色と線幅の初期状態
- ●マーカーの色と線幅の初期状態
- ●図形の色と線幅の初期状態

## ●重鱼

в

●初期設定ファイルの変更により、Interactive Whiteboard for CASIOの動作に問題が発生する 恐れがあります。変更する場合は十分ご注意ください。

## プレゼンテーションモードの初期設定ファイルを編集するには

#### **1.** Interactive Whiteboard for CASIOが起動中の場合は、終了する。

#### 次の場所にある「Interactive Whiteboard for CASIO」フォルダーを開く。

-Windows XPの場合:

C: ¥Documents and Settings ¥[ログインユーザ名] ¥My Documents ¥Interactive Whiteboard for CASIO

- Windows Vista、Windows 7またはWindows 8の場合: C.¥Users¥[ログインユーザ名]¥Documents¥Interactive Whiteboard for CASIO
- ●フォルダー内の「Presentation.ini」が、プレゼンテーションモードの初期設定ファイルです。

## **3.** 手順2で開いたフォルダー内の「Presentation.ini」をダブルクリックする。

●「メモ帳」が起動し、ファイルの内容が表示されます。

📗 Presentation.ini – メ 💶 🗖 🗙	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルブ(H)	
[INFO] Version=1.0	
[MODE] Type=pen	━━ 起動時に初期選択されるツールを表します。
[PEN] Color=red Width=thin	ペンの色と線幅の初期状態を表します。
[MARKER]  Color=yellow Width=bold	マーカーの色との初期値線状態を表します。
[SHAPES] Color=black Width=thin	── 図形の色と線幅の初期状態を表します。

## 4. 次の要領で、ファイルの内容を編集する(アスタリスク(\*)付きの項目は初期設定)。

起動時のツールをこれにするには:	[MODE]の次の行にこれを記述する:
ペン*	Type=pen
マーカー	Type=marker
矢印	Type=presentation

起動時のペンの色をこれにするには:	[PEN]の次の行にこれを記述する:
赤色*	Color=red
青色	Color=blue
黒色	Color=black
黄色	Color=yellow

起動時のペンの線幅をこれにするには:	[PEN]の2行下にこれを記述する:
細線*	Width=thin
中太線	Width=normal
太線	Width=bold
極太線	Width=extrabold

起動時のマーカーの色をこれにするには:	[MARKER]の次の行にこれを記述する:
赤色	Color=red
青色	Color=blue
黒色	Color=black
黄色*	Color=yellow

起動時のマーカーの線幅をこれにするには:	[MARKER]の2行下にこれを記述する:
細線	Width=thin
中太線	Width=normal
太線*	Width=bold
極太線	Width=extrabold

起動時の図形の色をこれにするには:	[SHAPES]の次の行にこれを記述する:
赤色	Color=red
青色	Color=blue
黑色*	Color=black
黄色	Color=yellow

起動時の図形の線幅をこれにするには:	[SHAPES]の2行下にこれを記述する:
細線*	Width=thin
中太線	Width=normal
太線	Width=bold
極太線	Width=extrabold

## 5. 編集が済んだらファイルを保存して、メモ帳のウィンドウを閉じる。



- ●上記の手順5で各設定を記述する際に「=」以降に表にはない文字列を記述した場合は、該当項目 の初期設定が適用されます。例えば図形線幅設定の行を「Width=red」と記述すると、起動時の 図形の線幅は「細線」になります。
- ●設定ファイルの編集後にInteractive Whiteboard for CASIOを起動して動作に異常があった場合は、編集後の「Presentation.ini」を「ごみ箱」に移動したうえで、Interactive Whiteboard for CASIOを再起動してください。初期状態の「Presentation.ini」が自動的に作成されます。

# デスクトップ描画モードを使う

デスクトップ描画モードは、PC画面(ドットスクリーンに投映中の画面)に表示中のイメージ(本ソフトウェアのツールボックスやウィンドウを除く)をキャプチャし、キャプチャされたイメージ画像にデジタルペンで記入するためのモードです。記入したイメージ画像は、その記入内容を後から編集できる状態で保存(DSTファイル)したり、イメージ画像と記入内容を含んだ画像ファイル(png、jpg、またはbmp)として保存したりすることができます。

# デスクトップ描画モードの作業の流れ

デスクトップ描画モードで画面への記入を行うにあたっての作業の流れは、次のとおりです。

#### (1)記入を行いたいPC画面をドットスクリーンに投映する。

ドットスクリーンには、PCのメインディスプレイ(プライマリディスプレイ)が投映されている ことが、操作の前提となります。下記「重要」を参照してください。



(2)本ソフトウェアを起動してデスクトップ描画モードに切り替え、画面キャプチャの操作を行う。(3)キャプチャされたイメージ画像への記入を行う。

デスクトップ描画モードで画面キャプチャの操作を行うと、すぐにデジタルペンによる記入がで きる状態になります。「表示中のイメージをキャプチャして記入する」 (49ページ)を参照してく ださい。



- ●PCに複数のディスプレイを接続して使用している場合(例えばノートPCにプロジェクターを 接続している場合など)は、ドットスクリーンには必ずPCのメインディスプレイ(プライマリ ディスプレイ)を投映してください。デスクトップ描画モードで画面キャプチャの対象となる のは、PCのメインディスプレイだけです。
- ●ドットスクリーンにPCのメインディスプレイ以外(セカンダリディスプレイなど)が投映され ている場合は、PCを直接操作してPCの画面設定を変更し、PCのメインディスプレイが投映さ れた状態にしてください。また、PCの画面設定の変更後は、必ず「キャリブレーションを実行す るには」(28ページ)の操作をやり直してください。

# 表示中のイメージをキャプチャして記入する

PC画面(ドットスクリーンに投映中の画面)をキャプチャして、そのキャプチャ画像上に記入を行う操作について説明します。

表示中のイメージをキャプチャして記入を始めるには

#### PC画面に(その上に記入を行うための)図表や資料などを表示する。

## 2. メインツールボックスの 国をクリックし、デスクトップ描画モードに切り替える。

●デスクトップ描画モードツールボックスが表示され、同時にサムネイルウィンドウが表示されます。



#### 3. サムネイルウィンドウの「新規キャプチャボタン」をクリックする。

●サムネイルウィンドウが閉じます。同時に、手順1で表示されていたPC画面(本ソフトウェアが 表示しているツールボックスやウィンドウを除いた状態の表示)がキャプチャされ、そのキャ プチャ画像の表示に切り替わります。



- ●キャプチャ画像の表示中は、通常のPC画面表示と識別するために、画面全体に外枠が表示されます。また、画面の左下にページ番号(何枚目のキャプチャ画像かを表す番号)が表示されます。
- ●キャプチャ画像を表す外枠はデスクトップ描画モードだけで表示されるもので、保存したデー タには含まれません。

#### 4. デジタルペンを使って、キャプチャ画像上への記入の操作を行う。

●詳しくは「デスクトップ描画モードのデジタルペン操作」(53ページ)を参照してください。

新たに別のイメージをキャプチャして記入するには

## 1. 🖃 をクリックし、表示されるサムネイルウィンドウ右下の 🗷 をクリックする。

- ●キャプチャ画像が閉じ、PCのデスクトップが表示されます。
  - ●このとき、本ソフトウェアのメインツールボックスとデスクトップ描画モードツールボックスは、表示されたままです。

#### 2. PC画面に図表や資料などを表示する。

- ●画面全体を確認するために本ソフトウェアのツールボックスを隠したい場合は、メインツール ボックスの をクリックしてツールボックスを最小化します。確認が済んだら、Windowsタ スクバーの本ソフトウェアのアイコンをクリックして、ツールボックスを再表示してください。

●手順2で表示したPC画面がキャプチャされ、そのキャプチャ画像の表示に切り替わります。

#### 4. デジタルペンを使って、キャプチャ画像上への記入の操作を行う。

●詳しくは「デスクトップ描画モードのデジタルペン操作」(53ページ)を参照してください。

🍋 メモ -

- ●上記の手順1でいったん現在表示中のキャプチャ画像を閉じた後で、そのキャプチャ画像(直前に閉じたキャプチャ画像)を再表示したい場合は、■をクリックしてサムネイルウィンドウを表示し、ウィンドウ右下の ■をクリックしてください。
- ●サムネイルウィンドウが保持できるキャプチャ画像は最大50枚です。上記の操作で51枚目を キャプチャしようとすると、次の確認ダイアログが表示されます。



一番古いページを削除してキャプチャを実行するには、[OK]をクリックします。

すべてのページを残しておきたい場合は[キャンセル]をクリックし、「すべてのキャプチャ画像をDSTファイルに保存するには(デスクトップ描画モード)」(63ページ)の操作を行います。そのあとでデスクトップ描画モードツールボックス右下の ズボタンをクリックし、再度「表示中のイメージをキャプチャして記入を始めるには」(49ページ)の操作を行います。

以前に表示したキャプチャ画像を再表示するには

1. 国をクリックして、サムネイルウィンドウを表示する。



#### 2. 再表示したいキャプチャ画像のサムネイルをクリックする。

●クリックしたキャプチャ画像の表示に切り替わります。

#### デスクトップ描画モードを終了するには

デスクトップ描画モードツールボックス右下の 🗙 ボタンをクリックします。

キャプチャした画像が1つでもある場合は、「終了する前にデスクトップ描画データを保存しますか?」 という確認ダイアログが表示されます。

- -保存する場合は確認ダイアログで[はい]をクリックし、表示される「名前を付けて保存」ダイアログで ファイル名と保存場所を指定し、[保存]をクリックします。キャプチャしたすべての画像と、画像上に 記入した内容が、1つのファイル(DSTファイル)として保存されます。
- -今回キャプチャしたすべての画像と記入データを破棄する場合は、確認ダイアログで[いいえ]をク リックします。

#### 保存したDSTファイルを開いて編集するには

#### **1.**次のいずれかの操作でDSTファイルを開く。

- Windowsのエクスプローラー上で、開きたい保存済みのDSTファイルをダブルクリックする。
   デスクトップ描画モードツールボックスの
   をクリックし、表示される「開く」ダイアログで DSTファイルを選択し、「開く」をクリックする。
- ●DSTファイルに保存されているキャプチャ画像の1ページ目(キャプチャ日時が最も古いもの) が表示されます。
- DSTファイルに含まれる別のキャプチャ画像に切り替えたい場合は、 E をクリック すると表示されるサムネイルウィンドウで希望するキャプチャ画像のサムネイルをク リックする。
- 3. デジタルペンを使って、キャプチャ画像上への記入や編集の操作を行う。
  - 詳しくは、次項の「デスクトップ描画モードのデジタルペン操作」を参照してください。

#### デスクトップ描画モードのデジタルペン操作

ここではドットスクリーン上でデジタルペンを使って実行できる操作を、一通り簡単に説明します。個別の操作について詳しくは、「プレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードのツール操作」 (57ページ)を参照してください。

ドットスクリーン上では、デジタルペンを使ってマウスのクリックとドラッグの操作ができます。

マウス操作	相当するデジタルペン操作
クリック	ドットスクリーン上をデジタルペンで1回タップします。
ドラッグ	ドットスクリーンをペン先で押さえたまま移動します。

また、デスクトップ描画モードツールボックスのアイコンをクリックすることで、下表のような本ソフ トウェアの機能を利用することができます。

- ●下表中の「ページ」とは、デスクトップ描画モードで現在表示中のページ(キャプチャ画像)を表します。
- ●下表中の「オブジェクト」とは、ペンツールやマーカーツールを使ってページ上に追加された記入や 描画の総称です。
- ●下表中の 🔂 アイコンだけは、メインツールボックス上のアイコンです。

これをするには:	このアイコンを クリックする:
ペンツール(ページにペンで記入するツール)に切り替える	
マーカーツール(ページにマーカーで記入するツール)に切り替える	
選択ツール(ページ上のオブジェクトを選択するツール)に切り替える	
消しゴムツール(ページ上のオブジェクトを削除するツール)に切り替える	<b>W</b>
線種設定メニューを表示する 表示された線種設定メニューのアイコンをクリックすると、現在選択 されている記入/描画ツールの線種が切り替わります。	
色設定メニューを表示する 表示された色設定メニューのアイコンをクリックすると、現在 選択されている記入/描画ツールの色が切り替わります。	٩
直前の記入または描画に関連した操作を元に戻す(最大10回まで操作可能)	D
⑦ で元に戻した操作をやり直す	3
ページを拡大表示する(150%、200%、300%の3段階まで拡大可能)	
拡大表示中のページの拡大率を1段階下げる	$\bigcirc$
手のひらツール(拡大表示中のページをドラッグ操作でスクロールするツール)に切り替える	M3

これをするには:	このアイコンを クリックする:
サムネイルウィンドウを表示する サムネイルウィンドウでは次の2つの操作ができます。 サムネイルウィンドウでは次の2つの操作ができます。 ● PC画面をキャプチャするには、 ◆ コントクリックします。 ● キャプチャ済みの画像を表示するには、表示したい画像 のサムネイルをクリックします。	st.cu
削除メニューを表示する 削除メニューには「表示ページのオプジェクトを全て削除」、「全ページのオプジェクトを全て削 除」、「表示ページを削除」という3つのオプションが含まれます。詳しくは「削除メニューの操作」 (62ページ)を参照してください。	Ŵ
現在開いているDSTファイルを印刷するための「印刷」ダイアログを表示する	
DSTファイルを開くための「開く」ダイアログを表示する	Ê
保存メニューを表示する 保存メニューには「dstを保存」、「表示ページを画像保存」、「全ページを画像保存」という3つのオ プションが含まれます。詳しくは「保存メニューの操作」(63ページ)を参照してください。	

# デスクトップ描画モードの初期設定を変更する

初期設定ファイルを編集することで、デスクトップ描画モード起動時の次の状態を変更できます。

- ●起動時に選択されているツール(ペンまたはマーカー)
- ●ペンの色と線幅の初期状態
- ●マーカーの色と線幅の初期状態
- ●キャプチャ画像の表示中を表す外枠(50ページ参照)の色と幅



в

●初期設定ファイルの変更により、Interactive Whiteboard for CASIOの動作に問題が発生する 恐れがあります。変更する場合は十分ご注意ください。

## デスクトップ描画モードの初期設定ファイルを編集するには

## **1.** Interactive Whiteboard for CASIOが起動中の場合は、終了する。

## 2. 次の場所にある「Interactive Whiteboard for CASIO」フォルダーを開く。

-Windows XPの場合:

C. ¥Documents and Settings¥[ログインユーザ名] ¥My Documents¥Interactive Whiteboard for CASIO

-Windows Vista、Windows 7またはWindows 8の場合:

C:¥Users¥{ログインユーザ名}¥Documents¥Interactive Whiteboard for CASIO

●フォルダー内の「DesktopDrawing.ini」が、デスクトップ描画モードの初期設定ファイルです。

# **3.** 手順2で開いたフォルダー内の「DesktopDrawing.ini」をダブルクリックする。

●「メモ帳」が起動し、ファイルの内容が表示されます。

📗 DesktopDrawing.ini 💶 🗙	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
Version=1.0	
[MODE] Type=pen	起動時に初期選択されるツールを表します。
[PEN] Color=red Width=thin	── ペンの色と線幅の初期状態を表します。
[MARKER] Color=yellow Width=bold	── マーカーの色との初期値線状態を表します。
[SHAPES] Color=black Width=20	── キャプチャ画像の表示中を表す外枠の色と幅の初期状態を表します。

## 4. 次の要領で、ファイルの内容を編集する(アスタリスク(\*)付きの項目は初期設定)。

起動時のツールをこれにするには:	[MODE]の次の行にこれを記述する:
ペン*	Type=pen
マーカー	Type=marker

起動時のペンの色をこれにするには:	[PEN]の次の行にこれを記述する:
赤色*	Color=red
青色	Color=blue
黒色	Color=black
黄色	Color=yellow

起動時のペンの線幅をこれにするには:	[PEN]の2行下にこれを記述する:
細線*	Width=thin
中太線	Width=normal
太線	Width=bold
極太線	Width=extrabold

起動時のマーカーの色をこれにするには:	[MARKER]の次の行にこれを記述する:
赤色	Color=red
青色	Color=blue
黒色	Color=black
黄色*	Color=yellow

起動時のマーカーの線幅をこれにするには:	[MARKER]の2行下にこれを記述する:
細線	Width=thin
中太線	Width=normal
太線*	Width=bold
極太線	Width=extrabold

キャプチャ画像外枠の表示色をこれにするには:	[SHAPES]の次の行にこれを記述する:
赤色	Color=red
青色	Color=blue
黑色*	Color=black
黄色	Color=yellow

キャプチャ画像外枠の線幅をこれにするには:	[SHAPES]の2行下にこれを記述する:
1ピクセル~100ピクセル (初期値:20ピクセル)	「Width=」の後に線幅のピクセル数を数値で入力しま す。例えば15ピクセルにしたい場合は「Width=15」と 記述します。

## 5. 編集が済んだらファイルを保存して、メモ帳のウィンドウを閉じる。

# <u>ک</u>×۲

- ●上記の手順5で各設定を記述する際に「=」以降に表にはない文字列や数値を記述した場合は、該 当項目の初期設定が適用されます。例えばマーカーの線幅設定の行を「Width=red」と記述する と、起動時のマーカーの線幅は「太線」になります。
- ●設定ファイルの編集後にInteractive Whiteboard for CASIOを起動して動作に異常があった場合は、編集後の「DesktopDrawing.ini」を「ごみ箱」に移動したうえで、Interactive Whiteboard for CASIOを再起動してください。初期状態の「DesktopDrawing.ini」が自動的に作成されます。

# プレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードのツー ル操作

プレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードのツールボックスに含まれるツールには、両 モードに共通するものと、モード特有のものがあります。共通のツールでも、操作や動作が両モードで まったく同じものと、若干異なるものがあります。ここでは、各ツールがどのモードでどのように使用 できるかについて、ツールごとに説明します。

## 記入/描画関連ツールの操作

以下の操作は、特に断りがないかぎりプレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードで共通です。

ページにペンやマーカーで記入するには

- 1. ペンを使うには 2 を、マーカーを使うには 2 をクリックする。
- 必要に応じて「オブジェクトの線種と線の太さを変更するには」(60ページ)の操作を 行い、線種と線の太さを指定する。
- 必要に応じて「オブジェクトの色を変更するには」(60ページ)の操作を行い、色を指定 する。
- 4. ページ上を、記入したいとおりにドラッグする。

ページに円、三角形、または四角形を描画するには(プレゼンテーションモード)

- 1. 🔊をクリックして、図形メニューを表示する。
- 描きたい図形に応じて、○△□(枠線のみの図形)、●▲■(塗りつぶした図形)の中 からいずれか1つのアイコンをクリックする。
   ● ここでは、▲(塗りつぶした三角形)をクリックした場合を例に説明します。
- 必要に応じて「オブジェクトの線種と線の太さを変更するには」(60ページ)の操作を 行い、線種と線の太さを指定する。
- 必要に応じて「オブジェクトの色を変更するには」(60ページ)の操作を行い、色を指定 する。
  - ●ここで指定した色は、枠線のみの図形を選択した場合は枠線、塗りつぶした図形を選択した場合は枠線と塗りの色に適用されます(塗りつぶした図形の枠線と塗りの色は個別には指定できません)。

#### 5.ページ上で、三角形を描画したい位置をドラッグする。

●ドラッグ中は、ドラッグの始点と現在のマウスポインター位置を対角線とする長方形が、破線 で描かれます。マウスボタンを離す(デジタルペンの場合はデジタルペンをドットスクリーン から離す)と同時に、長方形に収まるサイズの二等辺三角形が描画されます。



ページに直線または矢印を描画するには(プレゼンテーションモード)

- 1. 🔊 をクリックして、図形メニューを表示する。
- 描きたい線に応じて、□(直線)、□(片側に矢印の付いた直線)、□(両側に矢印の付いた直線)の中からいずれか1つのアイコンをクリックする。

   ここでは、□(片側に矢印の付いた直線)をクリックした場合を例に説明します。
- 必要に応じて「オブジェクトの線種と線の太さを変更するには」(60ページ)の操作を 行い、線種と線の太さを指定する。
- 必要に応じて「オブジェクトの色を変更するには」(60ページ)の操作を行い、色を指定 する。
- ・描画したい線の始点から終点までをドラッグする。
  - ●ドラッグ中は、ドラッグの始点と現在のマウスポインター位置を結ぶ破線が描かれます。マウ スボタンを離す(デジタルペンの場合はデジタルペンをドットスクリーンから離す)と同時に ドラッグの始点と終点を結ぶ直線が描画され、終点側に矢印が付きます。



画像ファイルをページに貼り付けるには(プレゼンテーションモード)

- 1. 🖾 をクリックする。
- 「開く」ダイアログが表示されるので、ページに貼り付けたい画像ファイルを選択する。
   ●ファイル形式がpng、jpg、またはbmpの画像ファイルを選択できます。
- 3. [開く]をクリックする。

●ページ中央に画像が貼り付けられます。

- ●像のサイズを変更したり移動したりしたい場合は ■をクリックし、貼り付けた画像 をクリックして変形や移動の操作を行う。
  - ●詳しくは、「オブジェクトを移動・変形するには」(60ページ)および「オブジェクトを回転する には(プレゼンテーションモード)」(61ページ)を参照してください。

単一のオブジェクトを選択するには

- 1. 🖾 をクリックする。
- 2. 選択したいオブジェクトをクリックする。
  - クリックすると同時にそのオブジェクトが選択され、オブジェクトを囲む長方形の枠とハンドル(■)が表示されます。



オブジェクトの選択例



図形ツールで描画したオブジェクトの選択例 (プレゼンテーションモードのみ)

●長方形の枠内をドラッグしてオブジェクトを移動したり、ハンドルを操作してオブジェクトを 変形したりすることができます。詳しくは、「オブジェクトを移動・変形するには」(60ページ) および「オブジェクトを回転するには(プレゼンテーションモード)」(61ページ)を参照してく ださい。

#### 複数のオブジェクトを選択するには

- 1. 🖾をクリックする。
- 選択したいオブジェクト全体を囲むことができる四角形をイメージし、その対角線を ドラッグする。
  - ●ドラッグ中は、ドラッグの始点と現在のマウスポインター位置を対角線とする長方形が、破線で描かれます。マウスボタンを離す(デジタルペンの場合はデジタルペンをドットスクリーンから離す)と同時に、破線で描かれた長方形の中に入るオブジェクトがすべて選択され、それらのオブジェクト全体を囲む長方形の枠とハンドル(■)が表示されます。



ペンとマーカーペンで記入した 複数オブジェクトの選択例



図形ツールで描画した 複数オブジェクトの選択例 (プレゼンテーションモードのみ)

●長方形の枠内をドラッグしてオブジェクトを移動したり、ハンドルを操作してオブジェクトを 変形したりすることができます。詳しくは、「オブジェクトを移動・変形するには」(60ページ) および「オブジェクトを回転するには(プレゼンテーションモード)」(61ページ)を参照してく ださい。 オブジェクトの線種と線の太さを変更するには

- オブジェクトの記入/描画前に線種と線の太さを指定するには、記入/描画したいオブジェクトに応じたツールを選択する。すでに記入/描画されたオブジェクトの線種と線の太さを変更するには、オブジェクトを選択する。
- 2. 🔟をクリックして、線種設定メニューを表示する。



- 線種設定メニューの上側2つのアイコンいずれかをクリックし、線種(実線または破線) を指定する。
- 4. 再度 💷 をクリックして、線種設定メニューを表示する。
- 5. 線種設定メニューの下側5つのアイコンいずれかをクリックし、線の太さを指定する。

オブジェクトの色を変更するには

- オブジェクトの記入/描画前に色を指定するには、記入/描画したいオブジェクトに応じたツールを選択する。すでに記入/描画されたオブジェクトの色を変更するには、オブジェクトを選択する。
- 3. 色設定メニューから、希望する色のアイコンをクリックする。
  - ●色設定メニューにない色にしたい場合は、色設定メニュー右端の▼をクリックし、表示される「色の設定」ダイアログで希望する色を選択し、[OK]をクリックします。その色が指定されると同時に、色設定メニューの右端のアイコンが指定色に置き換わります。

オブジェクトを移動・変形するには

- 「単一のオブジェクトを選択するには」(59ページ)または「複数のオブジェクトを選択 するには」(59ページ)の操作を行い、移動・変形したいオブジェクトを選択する。
- オブジェクトを移動するには、選択範囲を表す枠内をクリックしたまま押さえて(デジ タルペンの場合はドットスクリーンにタップしたまま押さえて)ドラッグし、希望する 位置でマウスボタンを離す。

 オブジェクトの縦横比を維持しながら拡大または縮小するには、選択範囲を表す枠の 四隅いずれか1つのハンドル(■)をクリックしたまま押さえて(デジタルペンの場合 はドットスクリーンにタップしたまま押さえて)ドラッグし、希望するサイズになった らマウスボタンを離す(デジタルペンの場合はドットスクリーンからペンを離す)。



オブジェクトを縦方向または横方向に伸ばしたり縮めたりするには、選択範囲を表す枠の四辺いずれか1つのハンドル(■)をクリックしたまま押さえて(デジタルペンの場合はドットスクリーンにタップしたまま押さえて)ドラッグし、希望するサイズになったらマウスボタンを離す(デジタルペンの場合はドットスクリーンからペンを離す)。



オブジェクトを回転するには(プレゼンテーションモード)



●次の操作は図形ツールで描画した円、三角形、四角形、およびページ上に貼り付けた画像ファイ ルに対してのみ可能です。

- 「単一のオブジェクトを選択するには」(59ページ)または「複数のオブジェクトを選択 するには」(59ページ)の操作を行い、移動・変形したいオブジェクトを選択する。
- 選択範囲を表す枠の中央点(●)上方にあるハンドル(■)をクリックしたまま押さえて(デジタルペンの場合はドットスクリーンにタップしたまま押さえて)ドラッグし、希望する角度だけ回転したらマウスボタンを離す(デジタルペンの場合はドットスクリーンからペンを離す)。



●複数オブジェクトが選択された状態で手順2の操作を行うと、選択範囲を表す枠の中央点(●)
 を中心にすべてのオブジェクトが回転するのではなく、各オブジェクトがそれぞれの中心点を
 中心として回転します。



オブジェクトを削除するには

- 1. オブジェクトを削除するには 🕟 をクリックする。
- 1つのオブジェクトを削除したい場合は、そのオブジェクトをクリックする。
   ●クリックすると同時に、そのオブジェクトが削除されます。

#### 複数のオブジェクトを一度に削除したい場合は、「複数のオブジェクトを選択するに は」(59ページ)と同様の操作で、削除したいオブジェクト全体を囲む。

●ドラッグ中は、ドラッグの始点と現在のマウスポインター位置を対角線とする長方形が、破線で描かれます。マウスボタンを離す(デジタルペンの場合はデジタルペンをドットスクリーンから離す)と同時に、破線で描かれた長方形の中に入るオブジェクトがすべて削除されます。



## 削除メニューの操作

削除メニュー(ツールボックスの 🗊 をクリックすると表示されるメニュー)を使うと、表示中ページまたは全ページ上のオブジェクトの一括削除、または表示中ページそのものを削除することができます。

以下の操作は、特に断りがないかぎりプレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードで共通で す。

表示中ページのすべてのオブジェクトを削除するには

1. 👕 をクリックすると表示される削除メニューで 🖾 をクリックする。

●削除を実行してよいかを確認するダイアログが表示されます。

 表示中ページのすべてのオブジェクトを削除するには[OK]を、削除をキャンセルする には[キャンセル]をクリックする。

全ページのすべてのオブジェクトを削除するには

- 全ページのすべてのオブジェクトを削除するには[OK]を、削除をキャンセルするには [キャンセル]をクリックする。

表示中のページを削除するには



1. 👕 をクリックすると表示される削除メニューで ᆒ をクリックする。

●削除を実行してよいかを確認するダイアログが表示されます。

 表示中ページの削除を実行するには[OK]を、削除をキャンセルするには[キャンセル] をクリックする。

## 保存メニューの操作

保存メニュー(ツールボックスの) ションモードまたはデスクトップ描画モードで現在開いているファイルを、本ソフトウェア専用形式 のファイル(ppg、dst)、または汎用の画像ファイル(png、jpg、bmp)として保存することができます。

- ●専用形式のファイルとして保存すると、後から本ソフトウェアで開いてページ上のオブジェクトを 再編集できます。
- ●汎用の画像ファイルとして保存すると、保存したファイル形式(png、jpg、bmp)に対応したアプリ ケーションで開くことができます。ただし、本ソフトウェアでの再編集はできなくなります。

以下の操作は、特に断りがないかぎりプレゼンテーションモードとデスクトップ描画モードで共通です。

実行中のスライドショーをPPGファイルとして保存するには(プレゼンテーションモード)

- 表示される「名前を付けて保存」ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存] をクリックする。
  - ●保存されるファイルのファイル名末尾には、保存時間を表す9桁の数字が自動的に追加されま す。詳しくは「保存ファイルの命名ルール」(64ページ)を参照してください。

すべてのキャプチャ画像をDSTファイルに保存するには(デスクトップ描画モード)

- デスクトップ描画モードで
   をクリックし、表示される保存メニューで
   をクリックする。
- 表示される「名前を付けて保存」ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存] をクリックする。
  - ●保存されるファイルのファイル名末尾には、保存時間を表す9桁の数字が自動的に追加されま す。詳しくは「保存ファイルの命名ルール」(64ページ)を参照してください。

表示中のページを画像ファイルとして保存するには

- 1. 👔をクリックし、表示される保存メニューで 🖬 をクリックする。
- 表示される「名前を付けて保存」ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存] をクリックする。
  - ●保存されるファイルのファイル名末尾には、保存時間を表す9桁の数字とページ番号を表す3桁の数字が自動的に追加されます。詳しくは「保存ファイルの命名ルール」(64ページ)を参照してください。

すべてのページをページごとに個別の画像ファイルとして一括保存するには

- 1. 👔 をクリックし、表示される保存メニューで 🗊 をクリックする。
- 表示される「名前を付けて保存」ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存] をクリックする。
  - ●保存されるファイルのファイル名末尾には、保存時間を表す9桁の数字とページ番号を表す3桁の数字が自動的に追加されます(3桁の数字は001から始まる通し番号)。詳しくは「保存ファイルの命名ルール」(64ページ)を参照してください。

#### 保存ファイルの命名ルール

プレゼンテーションモードおよびデスクトップ描画モードで保存したファイルは、次のルールに従っ て命名されます。

保存方法	命名ルール
PPGファイルまたはDSTファイルとして保存	{入力名}_{保存時間}
表示中の単一ページを画像ファイルとして保存	{入力名}_{保存時間}_{ページ番号}
全ページを画像ファイルとして一括保存	{入力名}_{保存時間}_{ページ番号}

[入力名].....「名前を付けて保存」ダイアログの「ファイル名」欄に入力した文字列です。初期状態の ままにした場合は、開いていたファイルのファイル名になります。

- {保存時間}......
   「hhmmssfff」の形式で自動指定されます。

   hh:保存時間の時(24時間表記)
   mm:保存時間の分

   ss:保存時間の秒
   fff:保存時間のミリ秒(3桁)
- {ページ番号}...... 出力元ファイルの何ページ目を保存した画像ファイルかを表す001から200までの3 桁の数値です。

## DSTファイルからPPGファイルへの変換について

デスクトップ描画モードで保存したDSTファイルは、拡張子「.dst」から「.ppg」に変更すれば、プレゼン テーションモードで開くことが可能です。デスクトップ描画モードを使って次々とキャプチャしたPC 画面を、そのままプレゼンテーションに使いたいときなどに便利です。デスクトップ描画モードでペン やマーカーを使って記入した内容は、ファイルの拡張子を変更してプレゼンテーションモードで開い た後でも編集可能です。

- 重重

●上記とは逆に、プレゼンテーションモードで保存したPPGファイルの拡張子を「.ppg」から「.dst」 に変更しても、デスクトップ描画モードでは使用できない場合がありますので、ご注意ください。

# 第3章: Dot Pattern Printer for CASIOを使う

本章では、Interactive Whiteboard for CASIOのPowerPoint操作モードやプレゼンテーションモード で使用するドットパターン付き資料を印刷したり、PPGファイルを作成したりするためのツールであ る「Dot Pattern Printer for CASIO」について説明します。

# Dot Pattern Printer for CASIOの概要

ここではDot Pattern Printer for CASIOでできることと、使用を開始するにあたって必要な製品登録の操作について説明します。

# Dot Pattern Printer for CASIOでできること

Dot Pattern Printer for CASIOは仮想プリンタードライバーです。PowerPointやWordなどで作成した資料を印刷するときに、出力先プリンターとして「Dot Pattern Printer for CASIO」を選択することで、次のことができます。

- ●任意のアプリケーションで作成した印刷が可能な資料にドットパターンを付けた「ドットパターン 付き資料」を印刷する。
- ●Interactive Whiteboard for CASIOの一部のツールボックスアイコンを選ぶ操作が実行できる「操作シート\*」をドットパターン付き資料に印刷する。
- ●任意のアプリケーションで作成した印刷が可能な資料から、Interactive Whiteboard for CASIOの プレゼンテーションモードで開いてスライドショーを実行するためのPPGファイルを作成する。
- ※「ドットパターン付き資料に対する操作」(PowerPoint操作モードの操作シートについては35ページ、プレゼンテーションモードの操作シートについては44ページ)を参照してください。



●ドットパターン付き資料の印刷には、別途アノト認定プリンターが必要となります(下記ウェ ブサイトでご確認ください)。アノト認定プリンター以外でドットパターン付き資料を印刷し ようとすると、正しくドットが印刷されなかったり、出力元ファイルと比較して色が乱れたり 正しく再現されない場合があります。

アノト認定プリンター: http://www2.anoto.com/printingprinter-partners.aspx

# 製品登録(シリアルキーの入力)

Dot Pattern Printer for CASIOを使ってはじめて印刷を実行するとき(または2回目以降でシリアル未 入力の場合)は、シリアルキー確認画面が表示されます。シリアルキーは、本製品に添付されている「ソ フトウェアライセンス証書」に記載されています。1度シリアルキーを入力すれば製品登録が完了し、シ リアルキー確認画面は表示されなくなります。

#### シリアルキーを入力するには

 任意のアプリケーション(例えばPowerPointなど)の「ファイル」メニューから「印刷」 を選択する。

●印刷の実行のしかたはアプリケーションによって異なります。ご使用のアプリケーションのヘ ルプ等を参照してください。

- 表示される印刷ダイアログ上で、プリンターとして「Dot Pattern Printer for CASIO」を選択する。
- <mark>3.</mark>印刷を実行するボタン(通常は[印刷]か[OK])をクリックする。
- シリアルキー確認ダイアログが表示されるので、[シリアルキーを入力する]をクリックする。

●シリアルキーの入力ダイアログが表示されます。

- 「ソフトウェアライセンス証書」に記載されているDot Pattern Printer for CASIO のシリアルキーを入力し、[登録]をクリックする。
  - ●処理中メッセージが表示された後で、「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログが表示されます。

Dot Pattern Printer for CASIO	×
<ul><li>(1) 町町(42)</li><li>(1) 町町(42)</li></ul>	
プリンタ名: Microsoft XPS Document Writer 👻	
操作シート: PowerPoint用 ・	
印刷範囲	
<ul> <li>() 경서(TED)</li> </ul>	
◎ ページ指定	
1.3.6 のようにページ番号をカンマで区切って指定するか、4-8のようにページ範 囲を指定してください。	
印刷語教	
部数: 1 🛖	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
資料の作成	
☑ 作成する	
解像度: 200 🔹 dpi (72 ~ 600)	
高度な設定。         OK         キャン	716

- ●このままドットパターン付き資料の印刷やPPGファイルの作成を行う場合の操作については、 「ドットパターン付き資料の印刷(PowerPoint操作モード用)」(67ページ)または「ドットパ ターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成(プレゼンテーションモード用)」(69ページ)を 参照してください。
- ●いったん操作を終了する場合は、[キャンセル]をクリックします。

# ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成

ここでは掲題の操作について、Interactive Whiteboard for CASIOのモード別(PowerPoint操作モード とプレゼンテーションモード)に示します。スライドショーの実行に使うモードに応じて、説明をお読 みください。

## Dot Pattern Printer for CASIO使用上の注意事項

ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成するにあたっては、次の点にご注意ください。 以下、ドットパターン付き資料の印刷やPPGファイル作成の元となる資料(PowerPointやWordなどで 作成したファイル)を「出力元ファイル」と呼びます。

- ●1つの出力元ファイルから印刷できるドットパターン付き資料、および作成できるPPGファイルは、 最大200ページです。
- ●ドットパターン付き資料やPPGファイル上での各ページの色合いは、出力元ファイルとは異なる場合があります。デジタルペンでの読み取りやすさを確保するために、色合いの調節が行われるためです。(特に非Postscriptプリンターで印刷したドットパターン付き資料では、色合いの違いが顕著に表れることがあります。)
- ●出力元ファイルで網掛けやグラデーション(例えばPowerPointの塗りつぶし効果など)が使われて いると、印刷やPPGファイル出力に時間がかかる場合があります。
- ●2バイト文字を含むユーザー名でWindowsにログインした後でユーザーの切り替えを行った場合、 Dot Pattern Printer for CASIOから印刷できなくなる場合があります。このような場合はWindows のログオフの操作を行ってから、再度ログインしてください。

# ドットパターン付き資料の印刷(PowerPoint操作モード用)

Interactive Whiteboard for CASIOのPowerPoint操作モードで使用するための、ドットパターン付き 資料の印刷方法を説明します。ここで印刷したドットパターン付き資料を使った操作については、 「PowerPoint操作モードでスライドショーを実行する」(34ページ)を参照してください。

#### PowerPoint操作モード用のドットパターン付き資料を印刷するには

. جلا 🕑

●下記操作で表示されるPowerPointアプリケーションの印刷ダイアログ上での操作は、ご使用の PowerPointアプリケーションのバージョンによって異なります。下記操作は PowerPoint 2010の場合のものです(バージョンによって操作が異なる箇所は、注記してあり ます)。

- Interactive Whiteboard for CASIOのPowerPoint操作モードでスライドショー を実行するのに使うPowerPointファイルを用意する。
- 手順1で用意したPowerPointファイルをPowerPointアプリケーションで開き、 「ファイル」メニューから「印刷」を選択する。

## 3. 表示されるPowerPointアプリケーションの印刷ダイアログで、次の設定を行う。

- 「プリンター」として「Dot Pattern Printer for CASIO」を選択する (PowerPoint 2003または PowerPoint 2007の場合は、「プリンタ名」リストボックスから「Dot Pattern Printer for CASIO」を選択する)。
- 「設定」で「すべてのスライドを印刷」を選択する(PowerPoint 2003またはPowerPoint 2007の 場合は「印刷範囲」として「すべて」を選択する)。
- ●印刷範囲や部数の指定は、手順10の「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログで行います。
- PowerPointアプリケーションの印刷ダイアログで[プリンターのプロパティ]をク リックする(PowerPoint 2003またはPowerPoint 2007の場合は[プロパティ]を クリックする)。

●「Dot Pattern Printer for CASIOのドキュメントのプロパティ」ダイアログが表示されます。

- 5. [詳細設定]をクリックして詳細オプションダイアログを表示する。
- 「用紙サイズ」リストボックスから、ドットパターン付き資料を印刷する際の用紙サイズを選択する。
- [OK]をクリックして詳細オプションダイアログを閉じ、プロパティダイアログに戻る。
- [OK]をクリックしてプロパティダイアログを閉じ、印刷ダイアログに戻る。
- [印刷] (PowerPoint 2003またはPowerPoint 2007の場合は[OK])をクリックする。

●処理中メッセージが表示された後で、「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログが表示されます。

10. ダイアログ上で次の設定を行う。



● [高度な設定]をクリックして設定できる項目については、「Dot Pattern Printer for CASIOダ イアログの高度な設定を行う」(71ページ)を参照してください。

## 11. すべての設定が済んだら、[OK]をクリックする。

●指定したプリンターからドットパターン付き資料が印刷されます。

# ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成(プレゼン テーションモード用)

Interactive Whiteboard for CASIOのプレゼンテーションモードで使用するための、ドットパターン付き資料の印刷方法とPPGファイルの作成方法を説明します。ここで印刷したドットパターン付き資料 および作成したPPGファイルを使った操作については、「プレゼンテーションモードでスライドショー を実行する」(41ページ)を参照してください。

プレゼンテーションモード用のドットパターン付き資料を印刷しPPGファイルを作成する には

- Interactive Whiteboard for CASIOのプレゼンテーションモードで実行するスラ イドショーの元となるPowerPoint、Word、PDFなどのファイルを1つ用意する。
- 手順1で用意したファイルを、そのファイルの作成元アプリケーション(または、PDF の場合のAdobe Readerなど、そのファイルを開くのに通常使うアプリケーション) で開き、そのアプリケーションで印刷を実行する。

●印刷の実行のしかたはアプリケーションによって異なります。ご使用のアプリケーションのヘルプ等を参照してください。

#### 3. アプリケーションの印刷ダイアログで、次の設定を行う。

- 印刷に使用するプリンターとして「Dot Pattern Printer for CASIO」を選択する。
- 印刷範囲として、すべてのページが印刷されるように設定する。
- ●印刷範囲や部数の指定は、手順11の「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログで行います。
- アプリケーションの印刷ダイアログで、プリンターのプロパティを表示するボタン(通常は[プリンターのプロパティ]か[プロパティ])をクリックする。

●「Dot Pattern Printer for CASIOのドキュメントのプロパティ」ダイアログが表示されます。

- 「印刷の向き」リストボックスから、ドットパターン付き資料を印刷する際の用紙の向 きを選択する。
  - ●ここで指定した用紙の向きは、出力元ファイルからPPGファイルを作成する際の画像イメージ の向きにも反映されます。
  - ●アプリケーションによっては、「印刷の向き」で選択したとおりに資料の印刷とPPGファイル出 力が行われないことがあります。
- 6. [詳細設定]をクリックして詳細オプションダイアログを表示する。
- 「用紙サイズ」リストボックスから、ドットパターン付き資料を印刷する際の用紙サイズを選択する。

●ここで指定した用紙サイズは、出力元ファイルからPPGファイルを作成する際の画像イメージ のサイズにも反映されます。

- 8. [OK]をクリックして詳細オプションダイアログを閉じ、プロパティダイアログに戻る。
- [OK]をクリックしてプロパティダイアログを閉じ、印刷ダイアログに戻る。

## 10. アプリケーションの印刷ダイアログで、印刷を実行するボタン(通常は[印刷]か[OK]) をクリックする。

●処理中メッセージが表示された後で、「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログが表示され ます。

## 11. ダイアログ上で次の設定を行う。



- ●「解像度」は、出力元ファイル(手順2で開いたファイル)を画像イメージとしてPPGファイルに 変換する際の解像度を指定する項目です。初期設定は200dpiです。より小さい設定値を選ぶと 画像イメージは粗くなり、ファイルサイズは小さくなります。より大きい設定値を選ぶと画像 イメージは精細になりファイルサイズは大きくなります。
- ●Interactive Whiteboard for CASIOでは、ページの幅または高さが10000ピクセル以上のイ メージは開けません。このピクセル数を超えないように、用紙サイズに応じて解像度を調整し てください。 例えば用紙サイズがA2横の場合、300dpiでは7016×4961ピクセル、600dpiでは14031× 9921ピクセルとなるため、「解像度」は300dpi以下を使用してください。
- ●[高度な設定]をクリックして設定できる項目については、「Dot Pattern Printer for CASIOダ イアログの高度な設定を行う」(71ページ)を参照してください。

## 12. すべての設定が済んだら、[OK]をクリックする。

- ●指定したプリンターからドットパターン付き資料が印刷されます。
- ●次に、PPGファイルの保存ダイアログが表示されます。

## 13. 保存ダイアログでファイル名と保存場所を指定し、[保存]をクリックする。

# Dot Pattern Printer for CASIOダイアログの高度な設定を行う

Dot Pattern Printer for CASIOダイアログ(68ページ、70ページを参照)で[高度な設定]をクリックすると、次のような「高度な設定」ダイアログが表示されます。



このダイアログでは、次の各項目が設定できます。

設定項目		解説	
ページサイズ情報	印刷の出力元ファイルのページサイズ情報をプリンターに送信するかどうかを指定しま す。「使用する」にチェックを付ける(初期設定)とページサイズ情報がプリンターに送信さ れ、チェックを外すと送信されません。		
カラーセパレーション	印刷されたドットパターン付き資料をデジタルペンが正しく読み取れるように、色分解の しかたを選択します。次の3つのオプションがあります。		
	標準(初期設定):	出力元ファイル上の黒色が、デジタルペンの読み取りに影響のない 色に変換されます。	
	UCR対応プリンタ:	色の濃い部分に黒トナーを使用するプリンターなど、標準設定では 正しく色分解が行われない場合に選択します。	
	行わない:	色分解を行わない場合に選択します。	
追加パラメータ	追加パラメータをテキ 通常は空欄のままにし	キストで入力することができます(初期設定:空欄)。 してください。	

「高度な設定」ダイアログで変更した設定を適用するには[OK]を、設定を破棄するには[キャンセル]を クリックします。いずれかのボタンをクリックすると、「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログに 戻ります。



●通常は、このダイアログ上の設定を変更する必要はありません。設定を変更するとドットパ ターン付き資料を正しく印刷できなくなる場合もあります。このような場合は[初期設定に戻 す]をクリックして、このダイアログ上のすべての設定を初期設定に戻してください。

# Dot Pattern Printer for CASIOのバージョン確認

「PowerPoint操作モード用のドットパターン付き資料を印刷するには」(67ページ)の手順4、または 「プレゼンテーションモード用のドットパターン付き資料を印刷しPPGファイルを作成するには」(69 ページ)の手順4で表示される「Dot Pattern Printer for CASIOのドキュメントのプロパティ」ダイアロ グで「Dot Pattern Printer for CASIO」タブをクリックすると、バージョンを確認できます。

👼 Dot Pattern Printer for CASIO のドキュメントのプロパ	ティ	<b>—</b> ×
レイアウト 用紙/品質 Dot Pattern Printer for CASIO		
Dot Pattern Printer for CASIO		
10.0		
Copyright (C) 2010 Dai Nippon Printing Co., Itd.		
	OK ***	ntur 🛛
# 第4章: トラブルシューティング

インタラクティブホワイトボードの使用中に何らかの問題が発生した場合は、以下をご確認ください。

# デジタルペンおよびドットスクリーン関連

#### ドットスクリーンやドットパターン付き資料にデジタルペンが反応しない

考えられる原因	対処
デジタルペンの電池が消耗してい る。	電池を新しいものに交換します。
デジタルペンの電源が切れてい る。	<ul> <li>デジタルペンを持つときに、キャップの装着状態を検出するスイッチ(電源スイッチの働きをします)を指で押さえてしまうと、デジタルペンの電源が切れます。検出スイッチを離すとデジタルペンの電源が入り、動作します。</li> <li>デジタルペンのキャップを外したままで約7分30秒の間使用しないと、自動的に電源が切れます。使用せずに放置していたデジタルペンが動作しなくなった場合は一度キャップを閉じてから、キャップを外してください。</li> </ul>
デジタルペン先端部のレンズを指 などでふさいでいる。	デジタルペンは、内蔵のカメラで対象を認識しており、先端部(ペン先の下部) のレンズを指などでふさいでいると正しく動作しません。レンズを何らかの障 害物でふさいでいないかご確認ください。
DSPDが起動していないか、正しく インストールされていない。	<ul> <li>デジタルペンの動作には、デジタルペン用のドライバー「DSPD」(15ページ)が 必要です。次の点をご確認ください。</li> <li>タスクトレイにDSPDアイコン(ご)が表示されていますか? 表示されていない場合は、PCを再起動します。再起動しても表示されない場 合は、DSPDを再インストールしてください。</li> <li>タスクトレイのDSPDアイコンが赤(ご)で表示されていませんか? この表示が出ている場合は、DSPDに何らかのエラーが発生しています。 DSPDを再インストールしてください。</li> <li>DSPDを再インストールしてください。</li> <li>MATAL AND AND AND AND AND AND AND AND AND AND</li></ul>
デジタルペンとPCのペアリングを 行っていない。	デジタルペンは、1本ずつ個別にペアリングすることが必要です。「デジタルペ ンをPCに接続する(ペアリング)」(11ページ)を参照し、デジタルペンとPCの ペアリングを行ってください。
Bluetoothアダブターを接続する USBポートを変更した。	Bluetoothアダブターは、基本的にはPCへの初回接続時に使用したUSBポート に接続することが必要です。別のUSBポートに接続すると新たなUSBデバイス としてPCに認識されるので、ドライバーのインストールからやり直さなければ ならなくなります。Bluetoothアダブターを別のUSBポートに接続してしまっ た場合は、使用しているすべてのデジタルペンのペアリングをやり直してくだ さい。

考えられる原因	対処
デジタルペンとPCのBluetooth接 続が切れている。	<ul> <li>次の点をご確認ください。</li> <li>タスクトレイにBluetoothアイコン())が表示されていますか?</li> <li>タスクトレイに表示されておらず、タスクトレイの「隠れているインジケーターを表示します」ボタンをクリックしても表示されない場合は、PCにBluetoothアダプターを接続してください(常に初回接続時と同じUSBボートを使用してください)。なおPC内蔵のBluetoothアダプターを使用している場合は、PCの操作でBluetoothアダプターをま示されるメニューから「BluetoothドライバーがMicrosoftスタックまたはTOSHIBAスタックであることが前提、詳しくは11ページの「重要」を参照)。</li> <li>タスクトレイのBluetoothアイコン())をクリックし、表示されるメニューから「Bluetoothの設定を開く」(Windows XP)またはTOSHIBAスタックであることが前提、詳しくは11ページの「重要」を参照)。</li> <li>タスクトレイのBluetoothアイコン())をクリックし、表示されるメニューから「Bluetoothの設定を開く」(Windows XP)またはTOSHIBAスタックであることが前提、詳しくは11ページ())をクリックし、表示されるメニューから「Bluetoothの設定を開く」(Windows XP)または「設定を開く」(Windows Vista/7/8)を選択します。ダイアログ上の「Bluetoothデバイスの表示」を選択します。表示されるダイアログ上に「ADP-301B」アイコンがデジタルペンの本数分ありますか?「ADP-301B」アイコンが表示されていない場合やデジタルペンをPCに接続する(ペアリング)」(11ページ)を参照し、デジタルペンとPCのペアリングを行ってください。</li> <li>Bluetoothスタックを使用していますか? 推奨Bluetoothスタックを使用していますか? 推奨Bluetoothスタックを使用していますか? 推奨Bluetoothスタックを使用していますか? 推奨Bluetoothスタックを使用していますか? 推奨Bluetoothスタックを使用していますか?</li> <li>第3に指数Bluetoothアダプターのプリインストールドライバーなど)では、デジタルペンは動作しません。詳しくは「BluetoothアダプターをPCに接続するには」(11ページ)を参照してください。</li> <li>本製品に適合しないBluetoothアダプター、またはBluetoothマグプターをPCに接続するには」(11ページ)を参照してください。</li> </ul>

### ドットスクリーン上をデジタルペンでタップした位置と操作結果がずれる

考えられる原因	対処
ドットスクリーンが汚れている。	マーカーで記入した文字等は、メラミンフォームイレーサー、または市販のメ ラミンタイプのホワイトボード用イレーサーで消します。汚れが落ちないとき は、水を含ませた柔らかい布で拭きます。
キャリブレーションが正しく行わ れていない。	「キャリプレーションを実行するには」(28ページ)の操作を行ってください。
プロジェクターの投映画面が歪ん でいる。	プロジェクターの投映画面が長方形になるように、プロジェクターとドットス クリーンの配置やプロジェクターの設定を調整してください。
デジタルペンの持ち方が正しくな い。	デジタルペンの向きによって、得られる座標に誤差が生じる場合があります。 ペン先のレンズ部が下になるようにデジタルペンを持って、操作してくださ い。
無線機器や家電製品から電波の干 渉を受けている。	原因と考えられる無線機器(Bluetooth機器や無線LAN機器など)や家電製品 (電子レンジなど)を、ドットスクリーンからなるべく離れた場所に置くか、機 器の電源を切ってください。

### ドットパターン付き資料にデジタルペンが反応しない

考えられる原因	対処
資料を認定プリンター以外から印	資料は必ずアノト認定プリンターから印刷してください。
刷した。	アノト認定プリンター: http://www2.anoto.com/printingprinter-partners.aspx
資料を色付きの用紙に印刷した	色付きの用紙に印刷した資料や、両面印刷した資料は使用できません。白色の
り、両面印刷したりした。	用紙(上質紙やコピー用紙など)に片面ずつ印刷した資料を使用してください。

#### ドットスクリーンが貼れない

考えられる原因	対処
磁力で吸着しない素材でできた壁 面に貼ろうとしている。	ドットスクリーンは、裏面のマグネット層を金属素材の壁面に磁力で吸着させ るようにできています。拡げた状態のドットスクリーン全体が無理なく収まる 広さがあり、ドットスクリーンを貼り付ける面全体が磁力でしっかり吸着する ような素材でできている垂直な壁面(金属製の黒板など)に貼り付けてくださ い。
貼ろうとしている壁面が汚れてい る。	壁面の汚れを十分に拭き取ります。水拭きした場合は、壁面が完全に乾いてか ら貼ってください。

# Interactive Whiteboard for CASIO関連

### トラブルの原因と対処

#### ドットスクリーンやドットパターン付き資料にデジタルペンで記入できない

考えられる原因	対処
非対応のデジタルペンを使用して いる。	以下のデジタルペンを使用してください。 YA-W72M に付属のデジタルペン YS-10 のデジタルペン DP-301 のデジタルペン
ドットスクリーンに投映していな い。	以下のドットスクリーンを使用してください。これ以外のスクリーンへの投映 画面に対して、デジタルペンで記入することはできません。 YA-W72M に付属のドットスクリーン YN-W72D-H のドットスクリーン YN-W72D-C のドットスクリーン
デジタルペンが認識できない資料 に記入している。	Dot Pattern Printer for CASIOから出力したドットパターン付き資料を使用 してください。
Interactive Whiteboard for CASIOが正しくインストールされ ていない。	DSPDのアプリケーション一覧(79ページ)にInteractive Whiteboard for CASIOが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、 Interactive Whiteboard for CASIOを再インストールしてください。 再インストールについては、「ソフトウェアの再インストール」(83ページ)を 参照してください。

上記にあてはまる項目がない場合は、「ドットスクリーンやドットパターン付き資料にデジタルペンが 反応しない」(73ページ)を参照してください。

#### PowerPointファイルによるスライドショーの実行時にドットスクリーンやドットパターン付き資料 にデジタルペンで記入すると、位置がずれる

考えられる原因	対処
PowerPointファイルのスライド	PowerPointファイルを使う場合は、必ずInteractive Whiteboard for CASIOの
ショーをInteractive Whiteboard	PowerPoint操作モードツールボックスにドラッグして、スライドショーを起動
for CASIOから起動しなかった。	してください。

考えられる原因	対処
スライドショー実行時に「用紙設 定」ダイアログで指定した情報に 誤りがあった。	「PowerPoint操作モードでスライドショーを開始するには」(34ページ)の「用 紙設定」ダイアログで、用紙サイズ、用紙の向き、用紙タイプ(スライド/ノート) を正しく入力してください。
バージョンが異なる複数の PowerPointアプリケーションを使 用している。	ドットパターン付き資料の印刷時とスライドショーの実行時で使用する PowerPointアプリケーションのバージョンが異なっていると、文字の大きさや 位置が印刷された資料と投映画面上の表示とで変わってしまう場合がありま す。PowerPointアプリケーションは、単一のバージョンを使用してください。

上記にあてはまる項目がない場合は、「ドットスクリーン上をデジタルペンでタップした位置と操作結 果がずれる」(74ページ)を参照してください。

#### ドットパターン付き資料をデジタルペンでタップすると、タップしたページでないページが表示される

考えられる原因	対処
ドットパターン付き資料の印刷時 の指定に誤りがある。	印刷に使用したアプリケーションの印刷ダイアログで印刷範囲を指定してし まうと、印刷されたドットパターン付き資料と出力元ファイル上のページが対 応しなくなってしまいます。アプリケーションの印刷ダイアログ上では、必ず 印刷範囲としてすべてのページが印刷されるように設定し、「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログ上で実際に印刷する範囲の指定を行ってくださ い。 詳しくは「ドットパターン付き資料の印刷とPPGファイルの作成」(67ページ) を参照してください。

#### PPGファイルが開けない

考えられる原因	対処
PPGファイル出力時の解像度が高	出力元ファイルから、再度PPGファイルを作成します。その際「Dot Pattern
すぎた。	Printer for CASIO」ダイアログで「解像度」を低めの数値に設定してください。

#### 表示中のページ全体に×マークが現れる

考えられる原因	対処
複数のアプリケーションを同時に 実行している。 Interactive Whiteboard for CASIOを起動したまま長時間使用 した。	<ul> <li>ご使用の環境によっては、メモリー不足などの理由で表示中のページ全体に×マークが現れることがあります。このような場合は、次の操作を行ってください。</li> <li>の Interactive Whiteboard for CASIOを除く起動中のアプリケーションを、すべて終了する。</li> <li>② Interactive Whiteboard for CASIOで現在開いているファイルをすべて保存し、Interactive Whiteboard for CASIOを終了する。</li> <li>③ PCを再起動する。</li> </ul>

### 既知の問題点

2013年2月28日現在、「Interactive Whiteboard for CASIO (Version 1.0.0)」について、以下の問題点が 確認されています。

●線種変更を指示したデジタルペンとは異なるデジタルペンの線種が変更されることがある。 複数本のデジタルペンで記入中に、あるデジタルペンで線種変更を行うと、変更を指示したデジタル ペンとは異なるデジタルペンの線種が変更されることがあります。

●PowerPoint 2010のスライドショーにおいて、操作シートからの操作でペンまたは蛍光ペンを選択 した場合、別のページに移動するとペンの選択が保持されない。 この問題は、Office 2010をSP1にアップデートすることで解決されます。SP1以上にアップデート してください。

## トラブルの原因と対処

#### 横向きの出力元ファイルが縦向きのドットパターン付き資料として出力され、画像が切れてしまう

考えられる原因	対処
「ページサイズ情報」チェックボッ クスにチェックが付いていない。	「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログで[高度な設定]をクリックし、 「ページサイズ情報」の「使用する」チェックボックスにチェックを付けます。
プロパティ画面で印刷の向きを横 向きにしていない。	印刷に使用しているアプリケーションの印刷ダイアログでプリンターのプロ パティを表示するボタン(通常は[プリンターのプロパティ]か[プロパティ]) をクリックし、「レイアウト」タブを開き、「印刷の向き」リストボックスから 「横」を選択します。

#### 出力の向きは正しいが、画像が切れてしまう

考えられる原因	対処
出力元ファイルのデータが印刷エ リア外にある。	出力元ファイルのページ上に配置されているデータが印刷エリア外にあると、 印刷時に画像が切れてしまいます。出力元ファイルを作成したアプリケーショ ンで、データが印刷エリア内に収まるように修正してください。

#### 出力元ファイルの一部のページが印刷されない(印刷が途中で終了してしまう)

考えられる原因	対処
200ページを超えるページ数を印 刷しようとした。	1つの出力元ファイルから印刷できるドットパターン付き資料は、最大200 ページです。出力元ファイルを分割して1ファイルあたり200ページ以下にす るか、印刷時に200ページを超えないように(「Dot Pattern Printer for CASIO」 ダイアログ上で)範囲指定して、印刷してください。

#### PPGファイルをInteractive Whiteboard for CASIOで開けない

考えられる原因	対処
「Dot Pattern Printer for CASIO」 ダイアログで指定した解像度が高 すぎる。	「Dot Pattern Printer for CASIO」ダイアログで「解像度」を低めの数値に設定 してください。

#### PPGファイルの一部のページで文字欠けが発生している(Windows XP SP3)

考えられる原因	対処
出力元ファイルの中で、縦書きの テキストボックスが使われてい る。	縦書きのテキストボックスを挿入したページでは、その他のテキストボックス を含め、文字欠けが発生することがあります。 この場合はマイクロソフト社が提供するアップデートモジュール 「WindowsXP-KB950305-v2-x86-JPN.exe」をご使用のプリンターメーカーの サイトから入手して下記手順でPCに導入し、「PSCRIPT5.dll」ファイルを更新し てください。 ① 動作中のアプリケーションをすべて終了する。 ② WindowsXP-KB950305-v2-x86-JPN.exeを起動する。 ③ ウィザードの指示に従って、アップデートを実行する。 ④ PCを再起動する。

### 既知の問題点

2013年2月28日現在、「Dot Pattern Printer for CASIO(Version 1.0.0)」について、以下の問題点が確認されています。

- ●縦向きと横向きが混在する、または異なる大きさのページが混在する資料は、印刷できないか、正し く出力されません。
- ・非Postscriptプリンター(GDIプリンター)はA判の出力のみが可能です。
   B判で出力したい場合は、Postscriptプリンターを使用してください。
- ●ログインユーザごとに出力を管理するプリンターからは、印刷できません。
- ●印刷したドットパターン資料と出力したPPGファイル上のフォントの形状が、出力元ファイルの フォントの形状と異なる場合があります。

# 第5章: 補足情報

# DSPDの管理機能について

DSPDは、デジタルペンから受け取ったデータをデジタルペンに対応したアプリケーション (Interactive Whiteboard for CASIO)に送る機能を持っています。通常は直接操作する必要はありませんが、タスクトレイのDSPDアイコン(10)を右クリックすると表示されるメニューを使って次のことができます。



メニュー項目	機能
アプリケーション一覧	DSPDに登録されているアプリケーション情報を表示します。
ペン一覧	DSPDによりPCと接続されているペンのアップ、ダウンの状態を表示します。
バージョン情報	DSPDのバージョンを表示します。
終了	DSPDを終了します。



в

 ・上記メニューの「終了」を選択するとDSPDが終了し、DSPDアイコン(
 <sup>1</sup>)が消えます。再度
 DSPDを起動するにはPCを再起動するか、次の操作を行います。
 Windows XP/Vista/7の場合:[スタート]メニュー → [すべてのプログラム] → [dnp] →
 [dspd] → [dspd]の順にクリックする。
 Windows 8の場合:スタート画面で「dspd」タイルをクリックする。

# ドットスクリーンのお手入れ

ドットスクリーン表面が汚れていると、デジタルペンが記入位置を検出するためのドットパターンを 読み取れない恐れがあります。また裏面が汚れていると、マグネットの吸着力が弱くなり、ドットスク リーンが落下してしまう恐れがあります。以下をお読みいただき、定期的にドットスクリーンのお手入 れをしてください。

### ドットスクリーンの表面を掃除する

- 1.壁面にほこりが付いていないことを確認し、ドットスクリーンを壁面に取り付ける。
  - ●ほこりが裏面に付着することを防ぐため、床には直接置かないでください。
- 汚れがある場合、よく絞ったきれいな布を用意し、ドットスクリーンの表面を水拭きする。

●水拭きのお手入れは1週間に1回程度をおすすめします。

### **3.** ドットスクリーンの表面をきれいな布で乾拭きする。

4. ドットスクリーンの表面が完全に乾いたことを確認し、ドットスクリーンを使用する。

### ドットスクリーンの裏面を掃除する

ドットスクリーンの裏面を掃除する際は、壁面に取り付けられた状態から少しずつドットスクリーン を巻き取りながら拭き取ると、シワを発生させずにお手入れできます。ほこりが表面に付着することを 防ぐため、床には直接置かないでください。

- ד× 🕑

 ▼メラミンフォームイレーサーの汚れを落とすには、プラスチックケースから布・スポンジ一体 部品を取り外し、中性洗剤で洗ってください。洗った後は、完全に乾いてからご使用ください。

### ドットスクリーンの収納

ドットスクリーンを収納するときは、次の手順で行ってください。

### ドットスクリーンを収納する(YA-W72M/YN-W72D-H)

- 1. 安全フックを壁から取り外す。
- 2. 巻き取りロールを壁面に押し付けながらスクリーンを巻き取る。
  - ●巻き取る際は、傾きやゆるみが出ないように十分注意してください。巻きの傾きやゆるみを修正する場合は、再度スクリーンを拡げてから巻き取り直してください。巻き取った状態で無理に修正しようとすると、スクリーンに傷を付ける恐れがあります。
- 巻き取りロールを壁面からゆっくりと離す。
  - ●壁面に押し付ける力を最後まで緩めないでください。壁面からはがれ落下する可能性がありま す。
- スクリーン両端の巻きゆるみ防止ワイヤーを、両方とも角パイ プ両端のフックに取り付ける。
- **5**.スクリーンケースに収納する。



### ドットスクリーンを収納する(YN-W72D-C)

- 1. 安全フックを壁から取り外す。
- 中央のつまみをしっかり握り、スクリーンを黒板 面から浮かせながらケースに収納する。
  - ●スクリーンがケースに完全に収納されるまで、手を離 さないでください。



### 3. ケースを両手でしっかりつかみ、黒板面から外す。

●操作中は、ケースをしっかり押さえて操作してくださ い。不用意に手を離すとケースが落下しけがの原因と なります。



## ソフトウェアのアンインストールと再インストール

### ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアをアンインストールする際は、必ずインストール時に使用した「setup\_ja」フォルダー内 にある「CASIO\_InteractiveWhiteboardsetup.exe」を使用してください。

Interactive Whiteboard for CASIOをアンインストールするには

### 1. 起動中のプログラムをすべて終了する。

 インタラクティブホワイトボード用ソフトウェアの「setup\_ja」フォルダーを開き、 フォルダー内の「CASIO\_InteractiveWhiteboardsetup.exe」をダブルクリックする。

●Interactive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィンドウが表示されます。

for CASIO	mileboard	
DSPD	のアンインストール	デジタルペンのドライバソフトウェアをアン インストールします
Interactive Whiteboard for CASIO	のアンインストール	デジタルベン対応の描画用ソフトウェア Interactive Whiteboard for CASIO をアン インストールします
Dot Pattern Printer for CASIO	のアンインストール	Interactive Whiteboard for CASIO 用の仮想 プリンタドライバ Dot Pattern Printer for CASIC をアンインストールします

- 3. 「Interactive Whiteboard for CASIOのアンインストール」をクリックする。
  - ●アンインストールが完了すると、「Interactive Whiteboard for CASIOのアンインストール」が「Interactive Whiteboard for CASIOのインストール」に変わります。また、「DSPDのアンイン ストール」が選択できる状態になります。

### 4. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

#### DSPDをアンインストールするには

- タスクトレイのDSPDアイコン(<sup>1</sup>/<sub>2</sub>)を右クリックすると表示されるメニューから「終 了」を選択し、DSPDを終了する。
- Interactive Whiteboard for CASIOをアンインストールするには」の手順1~4 の操作を行う。

### 3. 「DSPDのアンインストール」をクリックする。

- ●ご使用のOSによっては、このときInteractive Whiteboard for CASIO Setup Launcherウィン ドウを閉じるよう要求する画面が表示される場合がありますが、[無視]をクリックしてアンイ ンストールを続行してください。
- アンインストールが完了すると、「DSPDのアンインストール」が「DSPDのインストール」に変わります。また、「Interactive Whiteboard for CASIOのインストール」は選択不可になります。

### 4. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

Dot Pattern Printer for CASIOをアンインストールするには

### 1. 起動中のプログラムをすべて終了する。

- インタラクティブホワイトボード用ソフトウェアの「setup\_ja」フォルダーを開き、 フォルダー内の「CASIO\_InteractiveWhiteboardsetup.exe」をダブルクリックする。
- 「Dot Pattern Printer for CASIOのアンインストール」をクリックする。

●アンインストールが完了すると、「Dot Pattern Printer for CASIOのアンインストール」が「Dot Pattern Printer for CASIOのインストール」に変わります。

### 4. [終了]をクリックしてウィンドウを閉じ、PCを再起動する。

### ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアのバージョンアップ、その他何らかの理由(ソフトウェアのエラーなど)でソフトウェア を再インストールしたい場合は、そのソフトウェアをアンインストールすることが必要です。

各ソフトウェアを再インストールする際は下表を参照し、正しい順序で作業してください。

再インストールするソフトウェア	作業の順番
DSPD	<ul> <li>① Interactive Whiteboard for CASIOをアンインストール</li> <li>② DSPDをアンインストール</li> <li>③ DSPDをインストール</li> <li>(DSPDはInteractive Whiteboard for CASIOがインストールされた状態ではアンインストールできません。)</li> </ul>
Interactive Whiteboard for CASIO	① Interactive Whiteboard for CASIOをアンインストール ② Interactive Whiteboard for CASIOをインストール
Dot Pattern Printer for CASIO	<ul> <li>① Dot Pattern Printer for CASIOをアンインストール</li> <li>② Dot Pattern Printer for CASIOをインストール</li> </ul>



● Interactive Whiteboard for CASIOのアンインストール後も、ユーザー設定は残ります。ユー ザー設定も削除したい場合(再インストールしたときにInteractive Whiteboard for CASIOを 初期設定にしたい場合)は、Application Data¥CASIO¥にある「Interactive Whiteboard」フォル ダーを削除してください。

# 製品仕様

## デジタルペン仕様

モデル名:	DP-301
外形寸法:	159.5mm×20.5mm×18.2mm(キャップを閉じた状態)
	148mm×φ18.2mm(キャップを外した状態)
質量:	40g(電池、キャップを含む)
電源:	単四アルカリ電池1本
動作時間:	約6時間(ドットスクリーンやドットパターン付き資料をタップし続けた場合)
スタンバイ時間:	約150時間(キャップを外した状態)
通信方式:	Bluetooth2.0規格準拠、HIDプロファイル
通信出力:	Class 2
使用環境:	動作温度∶5~35℃
	動作湿度:20~80%(ただし結露しないこと)

### ドットスクリーン仕様

モデル名:	YA-W72M/YN-W72D-H
外形寸法:	¢85mm×1050mm(スクリーンケース収納時)
	幅1607mm×高さ1000mm(スクリーンを開いた状態)
有効スクリーンサイズ:	幅1552mm×高さ970mm
質量:	3.1kg(スクリーンケースを含む)
モデル名:	YN-W72D-C
外形寸法:	48mm×60mm×1052mm(スクリーンケース収納時)
	幅1675mm×高さ1052mm(スクリーンを開いた状態)
有効スクリーンサイズ:	幅1600mm×高さ970mm
質量:	2.7kg

# CASIO<sub>®</sub>



〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1401-C © 2013 CASIO COMPUTER CO., LTD.